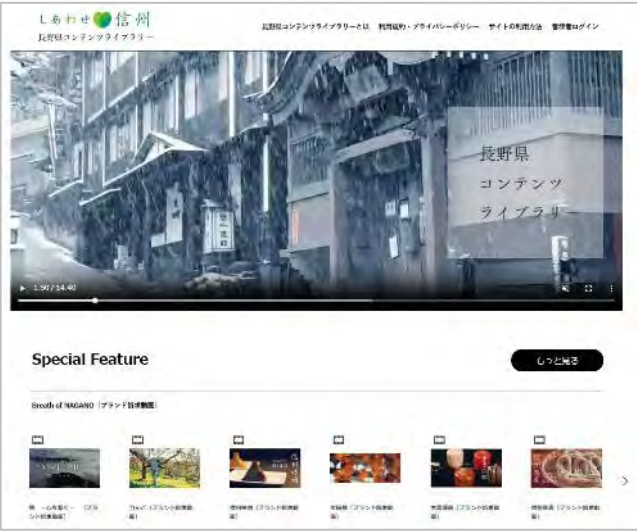


事業概要：信州ウェルネス産業創出事業

旧制度（推進）

申請者	長野県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	218,339千円 (67,084千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	ウェルネス関連プロジェクトの推進を通じて、県内産業の成長、ブランド化を促進 技術支援やネットワーク構築により、ウェルネス産業分野の発展と企業間の連携を強化 ベンチャー・スタートアップへの支援を通じて、新たな技術開発の促進と事業効果を最大化 デジタル化支援施策の拡充により、ウェルネス産業のデジタル化に対応		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ヘルステックと発酵食品分野における研究開発・事業化を促進し、スタートアップ創出や企業支援、人材育成を進める。産学官連携での研究開発支援や企業ネットワーク構築、補助金による事業化支援、実践的な人材育成プログラムの実施を通じて、地域資源を活かした新たな産業創出と「発酵・長寿県NAGANO」のブランド強化、観光振興を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ヘルステック関連機器開発支援（補助金）15,000千円 県内事業者やスタートアップが行う、機器の試作開発、概念実証（PoC）、販路開拓の取組に対する補助を実施。 ・信州フードスペシャリスト育成プログラムの実施（委託料）2,500千円 国内外の食品トレンドを読み解き、伝統技術を踏まえた新たな食品づくりができる研究開発人材の育成を目指し、食品製造や食品開発に係る各分野の専門的な講師による座学と実勢講座を実施。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+150人） ②ウェルネス産業における製造品出荷額（+180億円） ③研究開発プロジェクトの創出件数（+30件） ④人材育成プログラムの受講者数（+150人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.pref.nagano.lg.jp/seisaku-hyoka/hyouka/hyouka.html

申請者	長野県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	111,233千円 (38,058千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	女性・若者にとって魅力的な産業、職場づくりを推進し、それらの魅力とともに長野県で「暮らす」「働く」魅力を広く発信していくことにより、若者・女性が定着・転入し、持続的に発展していく長野県を目指す		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 魅力や価値の活用方法を学べる仕組みづくりと、企業と県が連携して女性・若者に向けた発信を行っていく体制づくり、既存企業がその魅力を自覚して発信ができる取組づくりを2つの大きな事業軸で展開していく。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ■ 女性・若者に向けた発信力の強化 (委託料：16,058千円) ■ 地域・既存企業・団体等の女性・若者に共感される価値の発信強化 (委託料：22,000千円)		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのU I Jターン数：(+826人) ②ブランドを戦略を理解し情報発信を行う企業数(+415社) ③地域プロジェクトへの参画企業数(+60社)	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagano.lg.jp/ki-kaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/index.html

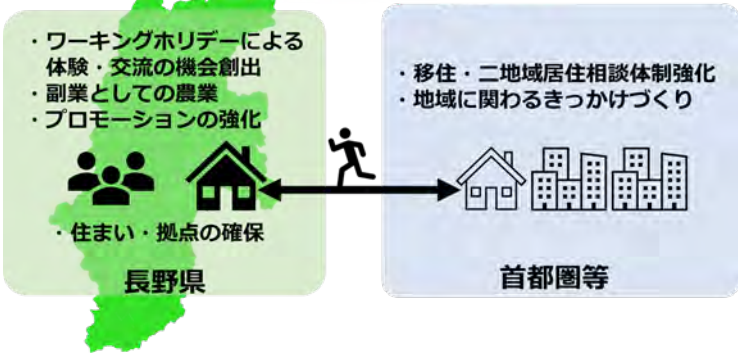
事業概要：信州「空モビリティ×山岳高原イノベーション」創出事業

旧制度（推進）

申請者	長野県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	311,330千円 (25,720千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	次世代空モビリティ（ドローンや空飛ぶクルマ）活用により、地上の制約に捉われない新たな山岳高原を創造する 中山間地域でも買い物や医療等のサービスを楽しみ、災害時にも安心安全な暮らしの実現を図る 山小屋の負担軽減や山岳遭難対策、新たな観光コンテンツ作りを進め、山岳高原観光の更なる魅力向上を図る 様々な業種で新たなサービス・雇用が創出され、地域内経済が循環するエコシステム構築を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「信州次世代空モビリティ活用推進協議会」参加団体等と協働・連携しながら、活用のために必要な基盤（住民理解・社会受容性、企業等が参入しやすい仕組み、社会実装・普及のためのソフト・ハード面の環境）を県が中心となって整えるのと同時に、実際の社会実装を民間企業が速やかに行うための支援を実施する。		画像出展：経済産業省HP 
	【R8年度事業 経費内訳】 ○多数の企業を関連事業に参入させるための仕組みづくり ・「信州次世代空モビリティ活用推進協議会」での具体事業創出のマッチング（委託料）5,390千円 ○次世代空モビリティ社会実装を加速させるための支援 ・民間企業による県内での次世代空モビリティ事業化準備支援（補助金）20,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+14人） ②実装された観光関連事業数（+3件） ③実装された生活利便性関連事業数（+4件） ④空飛ぶクルマの離着陸場設置予定数（+6箇所）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL （交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizokyo.html （実施体制関連ページ） https://sites.google.com/union.nagano-map.lg.jp/nagano-dx/airmobi#h.uw215r76lvu3

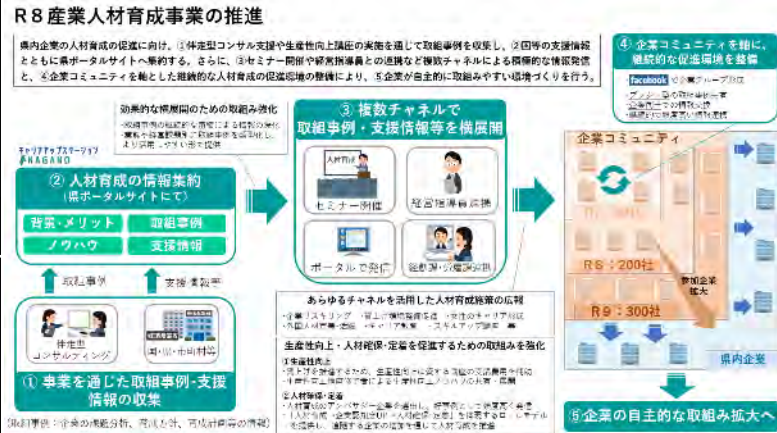
事業概要：多住・流動社会を先取した“交流と創造が生まれる信州”創出プロジェクト
(信州未来共創戦略関係)

継続

申請者	長野県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	133,783千円 (66,535千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタル化の進展等により、リモートワークや兼業、副業が普及する中で、必ずしも定住・定職にこだわらない「多住・流動」というライフスタイルを志向する人々を県内に呼び込むため、二地域居住の推進方策の具体化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 豊かな自然、農ある暮らし、圏域ごとの個性ある魅力やそこに根付く多様な伝統文化等、長野県の強みや魅力を最大限発信し、交流創出に主眼を置いた施策をモデル的に展開することで、市町村や受入地域等の意識変革も促し、人々が行き交い交流が生まれる地域づくりをパッケージで行う。					二地域居住促進により 交流と創造が生まれる信州へ！ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・仕事×滞在による関係人口創出（企画運営等／委託料）6,812千円 ・農業体験・交流の実施及び情報発信（運営・広報／委託料）2,507千円 ・移住・就業相談体制の強化（相談員配置等／委託料）11,848千円 ・地域体験を通じた関係人口創出（企画運営等／委託料）4,430千円 ・移住プロモーションの刷新（広報・WEB改修等／委託料・負担金）30,431千円 ・空き家利活用人材の育成（研修実施等／委託料）4,443千円 ・関係人口の可視化・機運醸成（制度構築・運営等／委託料）6,064千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+1,137人） ②本交付金事業で実施するイベントの参加者数（+400人） ③都市農村交流人口（+ 286,642人） ④移住相談件数（+200件） ⑤HP閲覧者数（+75,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizyokyo.html

事業概要：企業リスクリング推進事業事業（信州未来共創戦略関係）

継続

申請者	長野県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	55,355千円 (18,285千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	目的①：企業経営に対するリスキング推進の動機づけ 目的②：企業の課題に応じたリスキング施策情報の収集と展開						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少に伴う労働力不足やデジタル化による技術革新など急速に社会経済環境が変化する中、企業が成長分野・新規事業への転換、事業の高付加価値化、デジタル技術の活用等による生産性向上などを図るため、企業によるリスキングの取組み事例を積極的に創出し、その横展開を図る。これにより企業の主体的なリスキングを支援し、継続的に取り組みやすい環境づくりを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○経営指導員による企業支援 経済団体の経営指導員による、リスキングの取組推奨や企業におけるリスキング実践例の共有を実施 1,000千円 ○伴走型コンサルティング支援事業 民間コンサルタントによる企業のリスキング推進の伴走支援 7,285千円 ○企業コミュニティ形成事業 リスキングのノウハウや実践例の共有・情報交換等の交流イベントの開催 1,000千円 ○生産性向上推進リーダー育成講座事業 製造業向けの生産性向上講座の実施 9,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+406千円/人） ②伴走型コンサルティング実施企業数（+30社） ③企業コミュニティ参加企業数（+100社） ④生産性向上推進リーダー育成講座参加者数（+48人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizyokyo.html

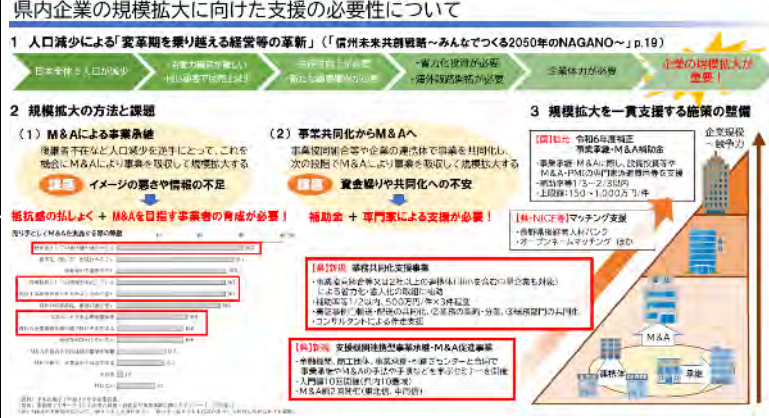
事業概要：信州観光MaaS推進事業（信州未来共創戦略関係）

継続

申請者	長野県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	663,164千円 (212,341千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・移動を中心とした観光サービス全般に係る「旅行者の利便性向上」と、移動情報等の収集による「観光データマーケティングの推進」を目的として「観光MaaS」を構築し、稼ぐ観光地域づくりを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 R7年度に実施した調査事業や推進体制での議論をもとに長野県版観光MaaSシステムの構築を実施。併せて観光MaaSシステムの利用促進に向けて、掲載する情報や交通・観光チケット等の充実のため、参画・連携するサービス提供事業者（交通事業者、観光関連事業者等）の確保及び支援や、地域内での関係者調整など、本システムの円滑な運用開始に向けたオペレーション業務を委託する。 また、県内の交通・観光事業者や市町村、関係機関とともに、具体的な機能の共有や、全県への展開方法等について検討するための会議を定期的開催する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・長野県版観光MaaSシステムの構築（委託料）：190,000千円 ・オペレーション業務（委託料）：21,776千円 ・推進体制の運営（報償費等）：565千円						
主なKPI	①地域における観光消費額（+448億円） ②MaaS登録者数（+3,000人） ③MaaS利用者満足度（+70%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizyokyo.html

事業概要：労働人口減少社会に対応するための企業規模拡大支援による競争力強化プロジェクト（信州未来共創戦略関係）

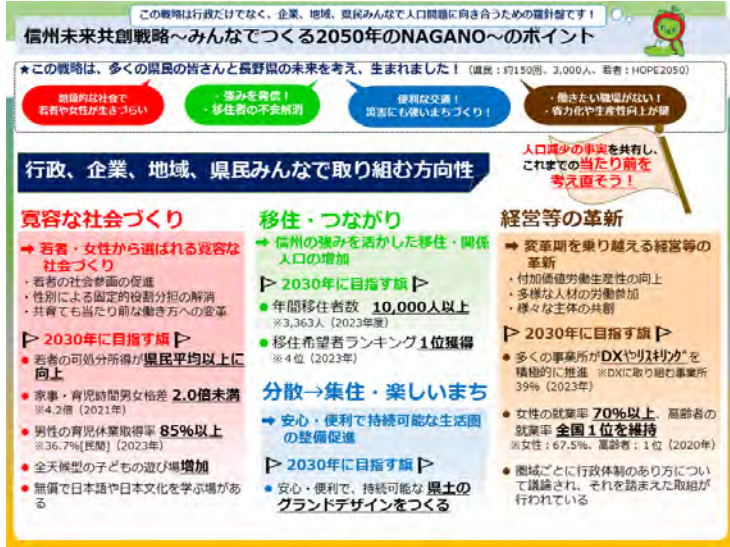
継続

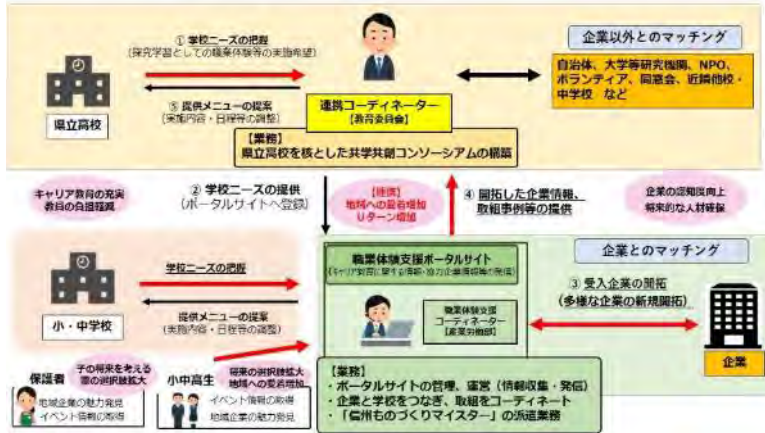
申請者	長野県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	74,094千円 (36,265千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・事業承継・M&Aへの理解を深める学びの場を提供するとともに、事業協同組合等が取り組む規模拡大につながる業務の共同化を支援することで、人口減少下において廃業の減少と労働生産性の向上につなげ、県内企業の経営基盤を強化する。 ・事業承継・規模拡大の啓発やそれを目指す経営者の育成、企業連携体による業務の共同化へと段階的な支援を実施し、国が推進する中堅企業支援へつなげる、一貫的な企業規模拡大の支援施策を整備する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 事業承継やM & Aに抵抗感を抱く経営者の心理的ハードルを下げ、企業規模拡大のマインドを醸成するために事業承継・M&Aの動向、手法、手順を学ぶセミナーを開催する。また、企業連携体や事業協同組合等による業務共同化の取組に対し、補助金の交付と専門コンサルタントによる伴走支援を行い、効果検証を行った後、専任コーディネーターによる優良事例の横展開を図る。					県内企業の規模拡大に向けた支援の必要性について 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 (1) 支援機関連携型事業承継・M & A 促進事業 ・事業承継・M & A の啓発（セミナー開催費） 1,264千円 (2) 業務共同化支援事業 ・業務共同化支援補助金の実施（補助金）15,000千円 ・コンサルタントによる伴走支援及び専任コーディネーターの配置（委託料）15,001千円 ・前年度補助事業のコンサルタントによる効果検証（委託費）5,000千円						
主なKPI	①長野県における就業者一人当たりの付加価値労働生産性（+541.68千円/人） ②長野県内の中堅企業数（+6社） ③事業承継・M&Aセミナー 及びワークショップの参加者数（+525人） ④実証事業により省力化・省人化した人数（+12人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	
					（事業承継・M&Aセミナーの開催） https://www.pref.nagano.lg.jp/keieishien/20180627jigyoushoukei.html （業務共同化補助金の交付） https://www.pref.nagano.lg.jp/keieishien/gyoumhojyo.html （具体的使途等） https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizyokyo.html		

事業概要：県内大学等教育機関及び県内企業の魅力発信事業

継続

申請者	長野県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,262千円 (11,288千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	○県内大学・短期大学の魅力発信を行うことにより、進学時における社会減の抑制及び社会増を促進する。 ○大学生等を対象に県内企業への就業促進を促すことにより、就職時における社会減の抑制及び社会増の促進をする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大学等への進学時における社会減の抑制及び社会増の促進のため、県内大学等の魅力を発信し、また、就職時における社会減の抑制及び社会増の促進のため、県内企業の魅力発信を、県内大学・短期大学及び企業等と連携して行う。 ＜県内大学・短期大学への進学促進＞ ○県内大学・短期大学の魅力発信 ○県内高校生と県内理工系大学生の交流会を実施 ＜県内企業への就職促進＞ ○県内企業におけるインターンシップ実施の支援及び県内企業と学生のマッチングを実施 ○県内理工系大学生と県内理工系企業に勤める社会人の交流会を実施					【参考R7：PRポスター】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○オープンキャンパス等の周知・参加促進 ・WEB広告（委託料）2,507千円 ・PRポスターの作成・掲示（委託料）1,512千円 ・PRチラシの作成（委託料）528千円 ・イベントの実施（委託料）2,420千円 ・進行管理費（委託料）150千円 ○交流会（県内高校生×県内理工系大学生、県内理工系大学生×県内理工系企業）の実施（委託料）4,171千円					【参考R7：PRチラシ】 	
主なKPI	①移住者数（+1,137人） ②県内大学・短期大学への志願倍率（+0.31倍） ③県内大学卒業生の県内就職率（+6.8%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（県内大学等教育機関魅力発信ランディングページ） https://manabo.pref.nagano.lg.jp/ （具体的使途等） https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizyokyo.html

申請者	長野県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	152,013千円 (48,013千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少に対応するため、行政・企業・地域・県民が協力する「県民会議」を設立し、「信州未来共創戦略」を策定した。この戦略は、2050年の目標に向けて、寛容な社会づくりなど4つの方向性を掲げている。 戦略の推進の土台となる寛容な社会づくりに向け、多様な主体が具体的な行動を起こしている姿を発信することにより、若者・女性はもとより、全ての人が地域に魅力を感じ、社会増が継続している状態を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県民会議は、県が施策を決定する従来型の会議体とは異なり、戦略に基づき、参加者が自発的に人口減少等の課題に取り組む実践の場である。 参加者は、若者の社会参画や固定的性別役割の解消などのテーマから関心分野を選び、学びや対話を通じて行動につなげる。 取組はプロジェクトチームとして展開され、イベントや情報発信等を通じて広く共有することで、参加者自身の行動が社会を変える実感と共感の輪を広げていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○県民会議運営費事業（負担金48,013千円） ・印刷費1,000千円 ・委託料47,013千円 （広報に係る動画制作費、WEB広告配信、SNS管理業務、CM制作、HP構築費、冊子コンテンツ制作費、新聞広告代及び県民会議のイベント開催費、プロジェクト伴走支援業務）						
主なKPI	①長野県への移住者数（+1,137人） ②都道府県版ジェンダーギャップ指数の経済分野の順位（+8位上昇） ③男性の育児休業取得率（+13.3%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kika/ku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizyokyo.html

申請者	長野県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	125,197千円 (38,440千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	若いうちから地域産業・企業の魅力を知る取組を実施し、将来の県内産業を担う人材を確保（U I ターン等による県内就職・県内定着を促進）						
事業概要・主な経費	【事業概要】 人口減少と若者の県外流出により県内産業の人材不足が深刻化する中、若者から「選ばれる県」を目指し、子どもたちが早期から地域産業・企業の魅力に触れる取組の充実を推進するため、企業・学校双方の負担軽減や連携強化及び情報発信等の支援を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 (1)職業体験支援ポータルサイト運営 ● 職業体験等を提供企業の情報やキャリア教育に係る取組事例等の発信 2,080千円 (2)職業体験支援コーディネーターの配置（4名） ● 企業と学校をつなぎ、キャリア教育の取組をコーディネート ● 「信州ものづくりマイスター」によるものづくり体験講座等の開催を支援 14,735千円 (3)学校と社会をつなぐ連携コーディネーターの配置（28名） ● 地域の魅力を知り守る人材の育成・確保のため、学校と地域社会が連携して教育を推進するコンソーシアムを構築 21,625千円						
主なKPI	① 県内出身学生のUターン就職率（+10.70%） ② 職場体験支援ポータルサイトを通じて職業・産業体験活動に参加した児童・生徒数（+5,450人） ③ 小中高高校生が地元の産業・事業所を知るための取組への参加事業所数（+600社） ④ 連携コーディネーターが地域とのつながりを創出した県立高校数（+25校）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizyokyo.html

事業概要： 信州アカマツの恵み循環事業

継続

申請者	長野県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,540,160千円 (540,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	長野県の森林を構成する主要な樹種であるアカマツは、かつて住宅の横架材や薪・炭などの燃料として利用され、地域経済にとって重要な木材資源であった。また、適切に管理されたアカマツ林は、秋の味覚を代表するマツタケの生産基盤となるなど、多くの恵みをもたらした地域経済を潤していた。 しかし近年、地球温暖化などの影響により、アカマツをはじめとする地域資源への森林病虫害の被害は、高標高地域にまで拡大し、この被害の拡大速度に対して防除が追いついておらず、西日本で見られたように、多くの地域資源が失われる可能性が高まっている。 このような状況を踏まえ、地域資源の価値を高めるために、現代の生活様式に適した新たなアカマツ材の活用方法の創出が求められており、こうした取組により、林業の収益性向上や雇用の創出を図り、地域内での経済循環を促進するとともに、森林の公益的機能や環境の保全にもつなげ、社会と自然が調和した持続可能な地域づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 かつては住宅用の横架材として使われてきたアカマツ資源の現代の生活様式での新たな利活用方法（2×4部材、集成材等）の市場調査、製品の試作・実証、商談会等を民間主導で検討する取組を推進し、アカマツ材等の価値を上げ林業産出額を増加させる。併せて、松くい虫の被害に抵抗性のある苗木の生産拡大を図るとともに、病虫害被害のおそれがある地域資源の伐採・搬出を行い、病虫害被害の拡大を防ぐ。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 病虫害被害拡大のおそれがあるアカマツ、広葉樹等製品の需要動向調査、新規需要の開拓方向性の検討、新製品の試作・実証、商談会を民間主導で実施する。併せて抵抗性アカマツ苗木の生産拡大を支援 ・信州アカマツ等販路拡大事業 30,000千円 ・松くい虫抵抗性アカマツ等苗木生産拡大事業 8,000千円 ○インフラ整備事業 アカマツ等の樹種転換を行い森林の公益的機能の維持・回復を図る ・治山事業（保安林総合改良事業） 22,000千円 ・森林整備事業（森林環境保全整備事業） 480,000千円						
主なKPI	① 林業算出額のうち木材生産額（+11.19億円） ② 木材生産量（+20.1万m3） ③ 対策対象松林における松くい虫被害量（事業開始前からの増加量）（+8,300m3） ④ アカマツ製品等を扱った商談会等への参加者数商談会等への参加者数（+3,000人）					URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/degiden/r6zissizyokyo.html

事業概要：信州コア技術×クロスイノベーション創造プロジェクト

新規

申請者	長野県、南信州広域連合					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	824,720千円 (177,616千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本県の強みである製造技術にA I等の先端技術や異分野連携を融合させ、イノベーション創出を加速する。 ・航空・宇宙、GX、サーキュラーエコノミー（CE）、ヘルステック、フードテック等の成長分野への中核技術転換と事業化を強力に推進する。 ・技術開発から製品化、販路開拓までの一貫支援により、研究成果を確実に収益化し、産業クラスターを形成する。 ・高度専門人材の育成と高付加価値企業の創出により、人口減少下でも持続可能な地域経済の好循環を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・製造現場へのA I導入や異業種協業を支援し、新たなDXモデルや製品を創出。専門家派遣や共同研究を通じ、付加価値の高い産業構造への転換を促進する。 ・航空・宇宙やGX、CE、ヘルステック、フードテック（発酵食品含む）において、技術開発から市場分析、戦略策定、販路開拓までを一貫通貫で伴走支援し、次世代産業の柱となる事業を構築する。 ・航空機産業の国際認証取得や医療機器開発、発酵食等の専門人材育成プログラムを展開し、技術革新と社会実装を自律的に牽引できる人的基盤を強化する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 異分野連携によるイノベーション創出事業（事業費）5,995千円、次世代産業研究開発・事業化支援事業（補助金）12,800千円、ゼロカーボン技術事業化促進事業（補助金）11,497千円、県産酒粕利用による代替肉開発支援事業（委託料）3,000千円、戦略的成長産業創出・ネットワーク強化事業（委託料）24,737千円、次世代航空・宇宙産業支援拠点機能・体制強化事業（事業費・負担金）24,403千円、社会実装・商談会事業（補助金）13,201千円、社会実装・事業化モデル実証支援事業（委託料）22,550千円、有望プロジェクト事業化促進事業（委託料）10,000千円、社会実装・カーボン排出量削減支援事業（事業費）4,751千円、次世代航空・宇宙機器産業支援機能強化事業（補助金）17,180千円、次世代航空・宇宙産業技術基盤・人材育成強化事業（事業費・負担金）10,643千円 ○ソフト事業と連携する設備整備事業 異分野連携によるイノベーション創出事業（高速演算PC、ヘンシェルミキサー等）5,115千円 高付加価値製品づくり促進事業（食品保存性評価装置）11,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造業の従業者一人当たり付加価値額増加率（+6.42%） ②研究開発プロジェクト実施件数（+84件） ③新規製品・サービスの事業化件数（+11件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	長野県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	1,033,279千円 （413,477千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	長野県企業の大多数（99.8%）を占めるとともに、地方創生の中核的な担い手である“中小企業”の“成長（主に売上高10億円未満企業を10億円超企業へ）”を徹底的に支援し、目指す姿「県内経済活性化と県民所得の向上」を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県では、人口減少下でも賃上げと投資を両立し、地域経済の付加価値を高めていくため、限られた人材でより大きな付加価値を生み出せる企業層の厚みを増やすことが不可欠である。そのため、経営戦略の策定支援、売上拡大に向けた各種（販路開拓、経営課題解決、設備投資、イノベーション創出、産業DX）支援を実施する。					売上高10億円突破支援プロジェクト 県では、令和8年度から、将来の売上高10億円突破を目指す県内中小企業を支援する「売上高10億円突破支援プロジェクト」を開始しました。本ページでは、当該プロジェクトに参画し、各種支援策を活用する際の要件や支援内容などについてご紹介します。 1プロジェクト参画方法・支援内容（事業者向け） 参画要件 次のいずれも満たす事業者となります（「県内中小企業」の定義など、詳細は「売上高10億円突破支援プロジェクト実施要領」をご確認ください。）。 <u>①県内中小企業であって、直近3期の平均売上高が1億円以上10億円未満である者。ただし、直前期の売上高が10億円以上である者を除きます。</u> <u>②成長志向企業宣言を県へ行い、認定を受けた者。ただし、国の「100億宣言」を行った者は本宣言を行えないものとします。</u> Step1「成長志向企業宣言」を作成・届出 次の内容が記載された「成長志向企業宣言書」を県へ届け出てください。次の様式を活用し、「売上高10億円突破支援プロジェクト実施要領」をご確認いただきながら作成・届出をお願いします。 成長志向企業宣言書（様式第1-1号）（PDF：63KB） ※直近3期分の決算書（貸借対照表、損益計算書、売上原価に関する報告書（作成している場合）、販売費及び一般管理費の明細（作成している場合））を添付いただきます。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・専門家の派遣（補助金）10,989千円 ・次世代の経営者の育成（委託料）6,189千円 ・国内外への販路開拓に係る支援（補助金）33,746千円 ・設備投資への支援（補助金）200,000千円 ・イノベーション創出の加速（委託料・補助金）106,881千円 ・産業DXの強化（委託料）55,672千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①長野県における就業者一人当たりの付加価値労働生産性（＋541千円/人） ②成長志向宣言企業のうち、売上高10億円を達成した企業数（累計）（＋25社/年） ③成長志向宣言を行った企業が経営戦略・計画を策定・実行し拡大させた売上額（＋40億円） ②成長志向宣言企業の認定数（＋300社） ③AI・IoT等の導入・活用企業割合（＋30%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	長野県					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	333,332千円 (86,354千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・労働供給制約下における地域経済の維持・拡大のため、女性リーダーの登用・育成や外国人材の活躍支援を通じて、企業の組織変革や人的資本経営への転換を促し、地場産業の生産性向上と高付加価値化を目指す。 ・企業に対する若者とのマッチングや外国人材の受入支援、安心な職場環境整備を一体的に推進し、雇用のミスマッチ解消と多様な人材の定着により、地域経済の基盤を強化する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 労働供給制約を乗り越えるため、多様な人材の「活躍」と「定着」に向けた重点支援を行う。具体的には、女性のキャリア形成と組織の多様性確保に向け、女性役員のマッチング支援体制の構築や女性管理職の育成プログラムを展開する。併せて、外国人材の適正な受入と定着に向け、専門窓口の設置や企業の日本語教育経費の補助による環境整備を行う。さらに、若者をはじめとする多様な人材が「納得して就職し、安心して働き続ける」ことができるよう、スカウト型イベント等の実施や、ハラスメント対策による職場環境の整備を一体的に推進する。					重点①:女性(組織変革) 役員のマッチング支援 (意思決定層への登用) 管理職候補の体系的育成 (人材パイプラインの構築)		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・女性リーダーの育成・マッチング支援体制の構築(委託料) 35,499千円 ・女性役員登用に要する経費の補助(補助金) 5,000千円 ・外国人材受入相談窓口の設置及び環境整備(委託料) 13,339千円 ・外国人材への日本語教育に要する経費の補助(補助金) 11,000千円 ・若者へのスカウト型イベント等の開催(委託料) 15,246千円 ・ハラスメント防止に向けた広報啓発・マニュアル作成(委託料) 6,270千円					重点②:外国人材(環境整備) 専門相談窓口の設置 (適正な受入の推進) 日本語教育経費の補助 (定着・活躍の土台)		
共通基盤:若者等の活躍・定着 スカウト型イベント等の実施 (ミスマッチの解消) + ハラスメント対策 (安心な職場づくり) 地域全体の産業競争力強化・人的資本経営の実現								
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①就業者一人当たりの付加価値労働生産性(+542千円) ②女性リーダー及びその候補者の創出数(+280人) ③「専門的・技術的分野」の外国人労働者数(+1,500人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定	

事業概要：長野県地域資源（農畜産物、伝統的工芸品）の価値魅力発信・販路強化プロジェクト

新規

申請者	長野県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	169,739千円 (44,239千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内農畜産物等の最終製品化及びブランド力の強化並びに伝統的工芸品の産地基盤強化を図り、付加価値を創出する。国内外市場における販路開拓を推進し、特定市場依存のリスクを低減するとともに、新たな需要獲得に繋げる。付加価値の県内還流を高め、外部環境に左右されにくい「稼ぐ産業構造」への転換を促進し、県民所得の向上を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内農畜産物の輸出は品質に優れる一方、特定市場への依存や検疫・物流面への課題を抱えるため、他市場展開に向けた条件整理、産地育成、ニーズ調査、テスト輸送等を進め、持続的な販路定着を図る。また、信州ブランドの価値を価格に反映させるため、国内外のプロモーションを強化し、県内事業者が最終製品として市場展開出来る体制を整備する。さらに、需要減や担い手不足が深刻な伝統的工芸品産業では、産地連携や販路開拓、後継者育成を支援し、持続可能な産地基盤の強化を目指す。					 輸出向け産地づくり	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新市場での販促活動・情報発信・市場調査・テスト輸送・産地育成（委託料等）19,083千円 ・信州ブランドの市場価値向上及び商品開発支援（委託料）4,700千円 ・伝統的工芸品について、産地連携や支援員によるバックオフィス強化、後継者育成、展示販売支援（委託料等）20,456千円					 商品開発支援	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①就業者一人当たりの付加価値労働生産性（+541千円/人） ②商品開発に結び付いた事業者数（+16者） ③「しあわせ信州」ロゴマーク認知度（+24%） ④県産農畜産物輸出額（+3億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

輸出向け産地づくり

現地プロモーション

商品開発支援

伝統的工芸品のワークショップ

申請者	長野県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	209,545千円 (39,155千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県農業大学校のスマート農業の教育力強化等により、次世代の生産性の高い担い手を安定的に確保することを目指す。 ・企業参入や実践型経営農場の整備、法人化支援、樹園地継承推進により、持続可能な地域農業経営体の形成につなげる。 ・中山間地域に不可欠な燃料供給体制を再構築し、生産・生活基盤のレジリエンス強化を通じて地域農業の持続的発展へつなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域計画で明らかになった農業を支える担い手不足の深刻な状況や、担い手不在農地に対応するため、県農業大学校の教育環境を高度化し、スマート農業等生産性の高い技術を活用できる次世代人材を育成するとともに、企業参入の促進や実践型経営農場の整備、法人化の推進により、経営力のある担い手を早期に確保する。加えて、果樹産地の維持に不可欠な樹園地継承を支援するとともに、多種多様な農作物を生産する中山間地域の燃料供給体制を再構築し、農業生産と地域生活を支える基盤を強化する。					県農業大学校における人材育成 スマート農業技術等生産性向上技術の教育の学習環境を整備 人口減少下に対応できる生産性の高い次世代人材の安定した確保・育成 担い手の確保 担い手の確保・育成支援 ①企業参入を誘致する農地を選定し、企業へアプローチ ②「実践型経営農場」(収益が得られる貸借型農地)の整備で短期間での担い手の育成 ③専門家を中心としたチームによる法人化の積極的支援 農地の確保 樹園地継承 荒廃すると再生するまでに長い時間を要する樹園地の一時的な管理や改植整備、貸し手と借り手のマッチングを推進 樹園地の円滑な継承と新たな担い手の確保 資材の確保 持続可能な経営体と生産・生活基盤による本県農業・農村の維持	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「企業誘致に向けた地域構想策定のための市町村向けセミナー」、「地域から企業への初期アプローチ」等に係るコンサルティング（委託料）13,200千円 ・法人化推進チーム（仮称）の設置（委託料）4,174千円 ・中山間地域の農業の担い手を支える燃料供給体制の検討促進（委託料）5,863千円 ・県農業大学校へのスマート農業対応コンバインの導入 8,418千円 ・市町村等の実践型経営農場（パイプハウスや農業機械等）の設置支援（補助金）7,500千円						
主なKPI	①長野県農業産出額 （+141億円） ②中核的経営体への農地集積率（+5%） ③長野県農業大学校の入学者数（+108人） ④「燃料供給に関する計画」策定市町村数（+11市町村）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	長野県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	133,334千円 (53,818千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「しあわせ信州創造プラン3.0」の重点施策である「県内移動の利便性向上プロジェクト」に基づき、自家用車に頼らなくても大きな不便を感じずに誰もが安心して暮らせる持続可能な社会を実現するため、特に通院・通学などの日常生活の移動が確保されている状態を目指す。 ・安心して日常生活を送ることができるようになり、移住希望者にとって移住の動機となることで、移住・定住の促進や県民の暮らしや安全を守ることにつながる						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・令和6年度に策定した長野県地域公共交通計画では、通院・通学・観光に必要な移動を保証するという方針を掲げ、原則として、市町村をまたぐ広域的な移動については県が、市町村内における移動については当該市町村が、それぞれ主体的に移動手段を確保することとしている。本事業では、通院・通学の移動手段の確保に向けた市町村の取組を促進するため、ガイドラインの整備や学識経験者等と連携した課題解決手法の検討等を実施する。 ・ドライバー等の人材確保を図るため、魅力発信・マッチングセミナー開催や就職相談窓口設置、専用サイトにて情報発信を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ガイドライン整備に係る基礎調査・検討、カタログ作成(委託料)13,606千円 ・課題解決手段の検討及び具体化の支援(委託料等) 27,719千円 ・新たに公共ライドシェア等の運行開始する団体に対する車両購入費や講習受講料等の初期費用を支援する。(補助金) 10,000千円 ・魅力発信・マッチングセミナー開催や就職相談窓口設置、専用サイトにおける情報発信強化(委託料) 2,493千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数(+3,750人) ②県内公共交通機関利用者数(+12,914千人) ③移動品質確保達成市町村数(+71市町村) ④運輸業界への新規就業者数(+12人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：信州やまなみ国スポ・全障スポ大会を契機とした観光とスポーツの相乗効果創出事業

新規

申請者	長野県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	279,015千円 (92,926千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・観光・スポーツ分野において地域の多様な主体が連携・共創を促し、資金や人材・ノウハウが循環する自走的なエコシステムを構築することで、地域の稼ぐ力やブランド力の向上につなげる。 ・パラスポーツの浸透と強化された情報発信の仕組みを大会後もレガシーとして活用し、県内全域で周遊や体験が継続的に広がる環境を定着させる。 ⇒ 信州やまなみ国スポ・全障スポを契機に観光交流・スポーツ振興の相乗効果を図り、観光消費額増加などの地域活性化を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 SOIPによりスポーツチーム・企業・大学等が連携する共創基盤を整備し、実証事業を通じて新たなビジネス創出を促進する。また、国際認証・表彰取得地域への伴走支援や人材育成により持続可能な観光地形成を進めるとともに、民俗芸能の継承支援を通じ地域文化の魅力を強化する。さらに、パラスポーツの教育プログラムの展開や取組の広域的な情報発信を行い、理解促進と交流拡大を図るほか、DMP構築や「Go NAGANO」改修によりデジタル技術を活用した発信力強化を進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・スポーツチームや企業等によるコンソーシアムを構築し実証実験を実施：（負担金）10,175千円 ・持続可能な観光地づくりに取り組む地域を伴走支援：（補助金）10,922千円、（委託料）3,456千円 ・パラスポーツの普及・促進に向けたプログラムや大会、情報発信を実施：（委託料）16,933千円 ・観光DMPの構築や観光公式サイトの改修：（補助金）51,439千円					観光交流・スポーツ振興の相乗効果を発揮し、地域経済の活性化へ！	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+1,476億円） ②スポーツ×異業種の共創プロジェクト実施数（+5事業） ③新たに国際認証・表彰取得に挑戦する地域数（+2地域） ④ボッチャ競技大会 企業チーム参加数（+15チーム）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	長野県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	375,000千円 (85,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内スタートアップとVC等との接点を拡大し、投資・協業・受注機会を創出することで、成長段階にあるスタートアップの県内定着と事業拡大を促進する。あわせて、県内企業・市町村との連携による社会実装を進め、M&AやIPO等につながる成長事例を創出し、産業の高付加価値化と持続可能な地域経済の形成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 全国からVC等を長野県に呼び込む大規模ビジネスカンファレンスの開催や、投資家ネットワークの継続的な構築により、スタートアップと投資・支援主体との関係性を強化する。あわせて、VC等から出資を受けたスタートアップに対し活動資金の一部を支援し、県内企業・市町村との協業や社会実装を促進することで、信州スタートアップ・エコシステムの強化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○スタートアップ・エコシステム強化事業 委託料 34,979千円（企画・運営・マッチング） ○投資家等ネットワーク構築事業 委託料 10,021千円（投資家掘り起こし・マッチング等） ○信州スタートアップ集積促進事業 交付金 40,000千円 VC等から出資を受けたスタートアップに対し、県内での事業活動に必要な経費の一部を交付する。						
主なKPI	①長野県における就業者一人当たりの付加価値労働生産性（+541.68千円） ②スタートアップ集積増加数（本店・拠点設置）（+54社） ③スタートアップによる資金調達額（+60億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	長野県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	598,321千円 (598,321千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	国が定める17の成長戦略分野のうち、長野県が重点的に振興を図る①AI・半導体・ロボット、②GX（水素）、③フードテック分野に挑戦する県内企業を支援するため、各分野ごとに競争力強化に資する検査・分析・評価等試験装置を工業技術総合センター（材料 / 精密・電子・航空 / 環境・情報 / 食品（技術部門））に整備し、地域産業の競争力強化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 工業技術総合センターの各部門が有する専門分野や既存設備に加え、地域における産業人材や大学関係者、センターの研究員が連携し、これまで共同で研究開発を行ってきた実績を踏まえ、新分野に対応した試験・分析・評価・実証用機器を各部門に分散して整備する。					 ニーズが多く普遍性のある技術 を共同研究により解決を目指す 施設を利用してい ただき共同で解決 職員が依頼試験 で対応して解決 施設利用 研究開発 中小企業 の技術課題 技術相談 依頼試験 技術相談 で解決 ↓ 成長分野への参入・付加価値向上による“稼ぐ力”の回復	
	【R8年度事業 経費内訳】 <u>①半導体・AI・ロボット分野の技術支援機能強化【192,416千円】</u> ○対象部門（材料 / 精密・電子・航空 / 環境・情報） ○整備内容 a 高分子材料の評価能力強化 b 表面性状や内部構造の可視化技術導入 等 <u>②GXの実現に向けた水素関連技術支援機能強化【217,752千円】</u> ○対象部門（材料 / 精密・電子・航空） ○整備内容 a 水素製造装置や燃料電池の成分分析基盤強化 b 燃料電池等の内部構造可視化技術導入 等 <u>③食品産業の高度化・フードテックの推進機能強化【185,735千円】</u> ○対象部門（食品） ○整備内容 a 工程可視化と再現性向上のための分析基盤整備 b 有用酵母等の探索に向けた技術基盤整備 等						
主なKPI	①製造業の従業者一人当たり付加価値額（+10.70%） ②新規技術創出件数（+31件） ③受託研究・試験手数料・機器使用料収入額（+20,500千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：データ活用人材育成等拠点創造事業

旧制度（推進）

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	151,200千円 (53,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	急速に人口減少が進む中、従来の労働集約型の産業から効率化を目指す産業形態に変革することが求められており、企業の生産性向上が喫緊の課題であるが、その打ち手である「デジタル化・DX」の取組は企業ごとに差があり、特に中小企業においては、遅れているのが現状である。本事業において、専門人材の育成やDX推進を支援することで、生産性向上や更なる新産業・新技術の創造が促され、地域産業の活性化を図ることができる。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内企業のデジタル化・DX推進を図るため、データ利活用の方法を学ぶ「専門人材育成支援」と個社伴走支援を中心とした「生産性向上（DX推進）支援」を実施		
	【R8年度事業 経費内訳】 1.専門人材の育成支援 信州大学工学部等と連携し、社会人と高等教育機関に通う学生に対して人材育成を行う。 （1）企業向けデータサイエンス講座 （2）若手IT人材育成プロジェクト 報償費10,500千円、委託料12,000千円 2.生産性向上（DX推進）支援 委託料31,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+112人） ②雇用創出人数（+126人） ③企業において生産性向上が行われた案件数（通算）（+310件） ④人材育成講座の参加者数（通算）（+450人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p006187.html

事業概要：「長野市版スポーツツーリズム」推進プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	55,000千円 (22,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	オリンピック施設等市内スポーツ資源や気候・環境といった本市の強みを生かし、夏季・冬季におけるプロスポーツチーム・実業団や学生等ウインタースポーツの合宿誘致といった、通年でスポーツツーリズムを推進できる体制を整え、交流人口拡大、消費活動を増大させ、経済活性化・地域活性化を強く推進していく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 Jリーグクラブの夏季キャンプや、その他社会人・学生等の大会・合宿誘致実装に向け、観光事業者と共同し合宿プラン等の構築及びその実証実験を行うほか、市外・県外に対する構築したプラン等の周知・誘致活動を実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○長野市スポーツツーリズム推進体制組織の運営費負担 委託料：18,700千円 負担金：3,300千円 (1) スポーツ合宿・大会の誘致実証事業（10,000千円） (2) 合宿・大会等のスポーツコンベンションの周知・誘致（2,000千円） (3) 事務局運営支援業務（10,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内の観光消費額（+24億円） ②国際大会・全国大会等の開催数（+8件） ③誘致・開催した合宿・スポーツイベントへの市外からの参加者数（+600人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p006187.html

事業概要：スケートの聖地創生プロジェクト

継続

申請者	長野県長野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	97,500千円 (26,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	オリンピック施設を有する長野市の強みを生かし、誰もがアイススポーツを日常的に親しみ、楽しめる環境等を整備し、国内随一のスケートの聖地化を図る。アイススポーツ競技者等の関係人口を創出することに加え、スポーツをまちづくりや産業につなげ活力あるまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・令和7年度に実施した「アイススポーツの現状分析及び戦略策定」における戦略をもとに、成長のための主となる施設を、効率的な維持と管理をおこなうためのビジョンを作成する ・「アイススポーツデー」としてトップアスリートによる実演や競技の楽しさを体験できるスケート教室の開催等イベントを継続して開催する。					<pre>graph TD; A[長野市] -- 委託 --> B[ビジョンの作成]; B --> C[アイススポーツの普及・アイススポーツデーの開催];</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・アイススポーツの興行・普及・競技力の3要素をバランスよく成長させるための施設のあり方ビジョンの策定 委託費 23,000千円 ・アイススポーツの普及 イベント開催委託費等 3,000千円						
主なKPI	①交流人口（+390人） ②小中学生の無料開放日参加人数（+3,000人） ③Mウェーブ食堂の1月当りの利用者数（+1,000人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p006187.html

事業概要：インバウンド誘客・受入環境整備事業

継続

申請者	長野県長野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	422,524千円 (174,326千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・インバウンド誘客の推進のため、効果的なプロモーション、受入環境整備などを進め、観光消費額の増加を図る。 ・オーバーツーリズムを緩和するため、観光案内看板や観光トイレ、インバウンドに好まれる日本古来の茅葺屋根の古民家旅館のリニューアル等を行い、インバウンドへの円滑な案内、観光誘客を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現行の第五次長野市総合計画では、政策「魅力を活かした観光の振興」において施策「インバウンドの推進」を掲げ、取り組んでいるところである。 令和9年に開催される善光寺御開帳で多くの観光客の来訪が見込まれることを意識しつつ、本市が持つ高いポテンシャルを有する観光を戦略的に振興していくことで、これから先も更に選ばれ続ける観光地となるような取組を行う。					 インバウンド向けプロモーション (バスラッピング)  戸隠観光トイレ 整備イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・インバウンド誘客のための効果的なプロモーション 11,800千円 ・エリア滞在、周遊促進 6,200千円 ・体験型観光アクティビティの造成に向けた調査結果に基づく観光戦略策定 2,926千円 ・エリア滞在、周遊促進・オーバーツーリズム対策事業（ライナーバス運行等） 15,000千円 ・受入環境整備（案内看板等改修設置工事） 15,000千円 ・インバウンド向け初めての雪遊び体験事業 400千円 ○拠点整備事業経費 ・古民家宿泊施設（中条地域振興施設（やきもち家））のリニューアル整備事業 25,000千円 ・戸隠観光トイレ（奥社・中社）改修工事 100,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊客の一人あたり観光消費額（+2,044円） ②市内外国人宿泊者数（+25,064人） ③多言語表示コンテンツ作成数（+100件） ④施設宿泊客数（やきもち家）（+299人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p006187.html

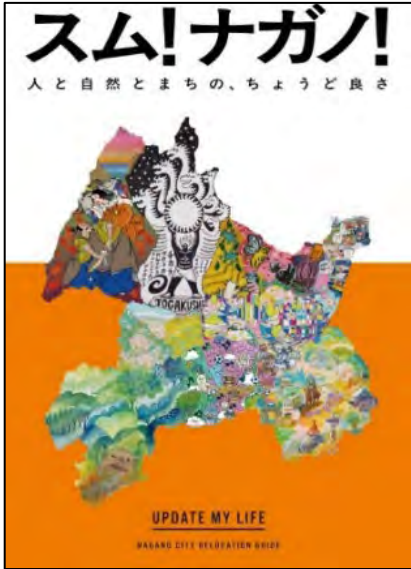
事業概要：飯綱高原スポーツ合宿拠点整備事業

継続

申請者	長野県長野市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,445,931千円 (681,830千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市街地からの良好なアクセス環境にあり、冷涼な気候と豊かな自然を有する飯綱高原において、旧飯綱高原スキー場駐車場敷地を活用したスポーツ合宿拠点を整備し、プロスポーツチームや社会人・学生等の大会・合宿を誘致するとともに、地域の観光協会、宿泊・飲食の事業者とも連携を図りながら、受入れ体制の構築と情報発信の強化を行い、「スポーツの産業化」を目指す。 本市の持つ観光資源やアクティビティなどのコンテンツと掛け合わせたより訴求力の高い合宿プラン・観光周遊プランの構築・販売等を行い、交流人口の拡大と消費活動を増加させ、経済と地域の活性化を強く推進していく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・旧飯綱高原スキー場駐車場敷地を活用し、サッカーグラウンドを2面整備する。大会・合宿の誘致及び、地域の観光協会、宿泊・飲食の事業者とも連携を図りながら、受入れ体制の構築と情報発信の強化を行い、「スポーツの産業化」を目指す。 ・本市の持つ観光資源やアクティビティなどのコンテンツと掛け合わせたより訴求力の高い合宿プラン・観光周遊プランの構築・販売する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・基盤整備 54,928千円 ・施設整備 169,267千円 ・グラウンド・コート整備 139,103千円 ・設計業務委託費 31,020千円 ・諸経費 287,512千円						
主なKPI	①地域における観光消費額（+146億円） ②国際大会・全国大会等の開催数（+10件） ③飯綱高原への観光入込客数（+25,000人） ④施設の利用者数（+10,500人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p006187.html

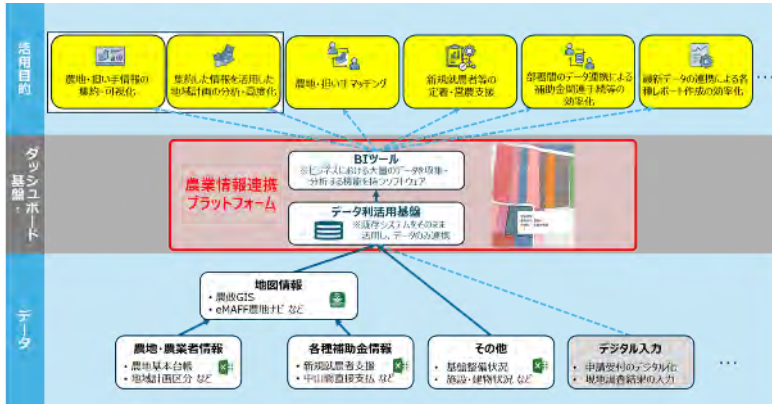
事業概要：移住・定住情報発信事業

新規

申請者	長野県長野市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,700千円 (27,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	移住情報専用ポータルサイトの構築及びコンテンツの充実化による情報発信を強化し、若者・女性の移住定住を促進することで、地域の雇用創出や新たな価値の創出による「強い経済」を構築するとともに、持続可能で多様性に富んだ地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・移住情報専用のポータルサイトを構築し、本市の生活、仕事、子育て環境などの情報を集約し、移住希望者が必要とする情報を分かりやすく整理して提供する。 ・ポータルサイトの構築・運営及び動画等のコンテンツ制作においては、EBPMを活用し、移住希望者のニーズや特徴を分析することで、情報発信の内容を継続的に改善する。 ・インフルエンサーと連携してSNS等の情報発信を強化するとともに、市内若者や女性に対しても地域の魅力を発信する。また、新幹線沿線駅舎や車内広告、就活イベント、東京圏のデジタルサイネージなどを活用した広報活動を展開する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○移住施策分析 15,400千円 ・ターゲットのニーズや特徴を明確化し、各ターゲットに応じた施策等を検討 ○移住・定住ポータルサイトの構築 12,100千円 ・生活、仕事及び子育て等の各種情報、移住者の声や暮らしの様子を掲載したポータルサイトの構築 ・長野市での暮らしにフォーカスした動画等の制作 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 (+300人) ②行政支援による移住世帯数 (+300世帯) ③ポータルサイトの閲覧数 (+60万回)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p006187.html

事業概要：農業情報連携プラットフォームによる持続的農業推進事業

新規

申請者	長野県長野市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	26,865千円 (19,785千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農業情報連携プラットフォームを核に、分散農地の一元管理とマッチングを加速させ、地場産業である農業の生産基盤強化と付加価値向上を目指す。 ・地域全体で最新の営農データや担い手情報を共有するネットワークを構築し、地域課題である耕作放棄地の解消や、効率的な農地集約による次世代への円滑な事業継承につなげる。 ・デジタル化による情報の透明性向上を通じ、域外企業や新規就農者の参入を幅広く支援することで、雇用創出と外需獲得に向けた生産体制を確立し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 本市の農業構造の課題として、0.83ha単位の極小分散農地の点在が担い手への集約化や外部参入を阻む大きな障壁となっている。この課題を解決するため、農地所有・利用状況、担い手意向、営農情報を一元的に管理・可視化する「農業情報連携プラットフォーム」を構築・運用する。本プラットフォームを活用し、情報の非対称性を解消することで、最適な農地マッチングや未利用農地の解消に向けた伴走支援を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・農業情報連携プラットフォームを活用した地域農業への参画促進基盤の整備（委託料） 19,785千円						
主なKPI	①本事業の展開による農業及び関連産業の「付加価値増加額」（＋2.4億円） ②集約・継承に向けた「事前調整・マッチング」の実施件数（＋120件） ③新規就農・農業参入希望者への「農地情報提供・相談」対応件数（＋90件） ④新規就農者の定着率（就農3年後）の向上幅（＋5ポイント）					URL	※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p006187.html

事業概要：中部山岳国立公園南部地域横断自然歩道（信飛トレイル）推進事業

新規

申請者	長野県松本市、岐阜県高山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,841千円 (8,947千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・道標の設置やイベントを通じた認知・魅力の向上により、沿線の宿泊業、飲食業、交通業、農産業への波及効果（エコツーリズムによる地域内消費）を最大化させ、トレイルを通じた、地域全体の産業競争力の底上げを目指す。 ・ガイドツアーの収益を整備に還元する「受益者負担」のビジネスモデルを組み込み、公費に頼らない自立的なインフラ維持を目指す ・世界を相手にする「プロガイド」や専門職を確立。大学生向けの疑似体験などを通じ、「価値のある専門職」としての魅力を提示する						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 松本・高山間を繋ぐ「信飛トレイル」を軸に世界水準の歩く旅を確立するものです。道標整備や海外販路開拓（ファムツアー）を通じ、通過型観光を高付加価値な滞在型へ転換。ツアー収益を道普請へ還元する自立型運営を実現する。また、学生向け教育やガイド育成により、若者のUターンと専門職雇用の創出を図り、持続可能な地域経済と自然保護の好循環を構築する。					信飛トレイル ルート図 全長:117km 5泊6日を推奨(スルーハイック時) 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・信飛トレイルに関するプロモーション事業（負担金）1,603千円 ・信飛トレイルに関するインナーブランディング事業（負担金）2,344千円 ・道標、案内板の製作・設置（負担金）5,000円					プレッシャー  踏破賞 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中部山岳国立公園南部地域の外国人利用者 1人あたりの消費額（+20,400円） ②中部山岳国立公園南部地域の日本人利用者 1人あたりの消費額（+7,350円） ③信飛トレイル利用者（事前登録者数）（+1,928人） ④上高地における宿泊者数（+3,500人） ⑤上宝地域における宿泊者数（+3,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【信飛トレイル】 https://shinpitrail.com/

※長野県松本市、岐阜県高山市の広域連携事業

事業概要：“脱炭素×地方創生” ゼロカーボン市民アクションプラン推進事業

新規

申請者	長野県松本市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	39,850千円 (13,740千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ゼロカーボン分野を地域の成長分野として育成し、新たな事業展開や雇用創出、地域内経済循環の拡大を図る。 ・市民行動を地域経済に接続することで、若者や子育て世代が地域に関わり続ける理由となる「稼ぐ力」を生み出し、松本市の地方創生の実現に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、市民の関心や選択を起点に分散している需要を整理・可視化し、地域事業者が事業化や投資判断に活用できる市場情報へ転換する基盤を構築するものである。 主な取組みとして、基幹サイトの構築、気候変動に対するグループワークを行うゼロカーボンカフェの運営、次世代環境アクションリーダー養成事業等により市民のマインドの転換を図る。 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・基幹サイト構築及び広告宣伝による普及啓発（委託料ほか）5,830千円 ・ゼロカフェ運営（委託料ほか）310千円 ・ゼロカーボン相談カウンター（イベント出展料ほか）1,170千円 ・次世代環境アクションリーダー養成事業（委託料）6,430千円						
						気候市民会議まつもとにおいてとりまとめた市民アクションプラン	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①65歳未満の社会増減（転入者－転出者）（+150人） ②MZCC企業会員の脱炭素に係る新規取組企業数（+15社） ③基幹サイト閲覧者数（+3,000人） ④ゼロカフェ参加者のうち、他の市民へ周知した人数（+60人） ⑤住いのゼロカーボン相談カウンターでの相談者数（+600件） ⑥次世代環境アクションリーダー養成事業受講者数（+37人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【気候市民会議】【市民アクションプラン】 https://www.city.matsumoto.nagan o.jp/soshiki/51/143953.html (令和8年10月公開予定)

事業概要：松本市乗鞍観光センター周辺整備事業

新規

申請者	長野県松本市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,912,268千円 (123,270千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・乗鞍の地域住民自らの手で地域資源である「豊かな自然」を守り、活用した観光コンテンツの日本全国や海外への発信を強化する。 ・ハード面での構造的な課題を解決することにより来訪者の満足度を高め、リピート化や長期滞在化を図り、地域活性化に繋げる。 ・「ゼロカーボンパークの乗鞍高原」という新たな付加価値を生み出し、新たな観光資源を創出する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の観光センターを再整備する。具体的な内容は以下のとおり (1)バスターミナルの整備、駐車場整備による来訪者の不便解消 (2)レストラン、ラウンジ等を開放的でシームレスな配置で整備し、来訪者がくつろげる建物内の空間を確保 (3)屋外にはマルシェが可能なスペースやキッチンカーが乗り入れることのできる広場などを整備し、観光客が長時間滞在できる場所を整備 (4)国内外の観光客に向けた観光スポットの情報発信強化 (5)ゼロカーボンパークの拠点施設となるよう施設のNearlyZEB化や薪ストーブの導入等、地域産の再エネを活用							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築主体工事（床掘、基礎工事等） 28,000千円 ・土木工事（駐車場舗装、盛土工事等） 83,790千円 ・解体工事（既存EV充電器建屋、看板等） 3,930千円 ・工事監理業務 7,550千円 （合計）123,270千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中部山岳国立公園南部地域の日本人及び外国人の利用者 1人あたりの平均消費額（+74,800円） ②乗鞍高原への観光入込客数（+25,270人） ③乗鞍観光センター利用者数（+3,360人） ④観光センター内レストラン売り上げ（+636万円）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【乗鞍観光センター】 https://norikura.gr.jp/tourist-center/

事業概要：産学官による、まちなか×地域振興事業

旧制度（推進）

申請者	長野県上田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	170,100千円 （59,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	民間や大学、地域による積極的な協力のもと、まちなかに賑わいを生み出し、観光人口、交流人口、移住人口が増えていく将来像を描く。 こうした取組により地域住民にとっても住み続けたいまちとしての魅力を維持することにつながり、人口減少対策や持続可能な地域活性化に資するものとする。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産学官の連携のもと、地域の特色を活かして観光資源の磨き上げ、まちなかの賑わいを創出するとともに、シェアサイクル事業で域内の移動しやすさを向上させ、観光人口・交流人口・移住人口の増加を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○シティプロモーション推進事業 若年層や関西方面へのプロモーション等 委託料など22,200千円 ○中心市街地活性化事業 中心市街地の活性化支援や、出店補助 補助金など12,000千円 ○シェアサイクル活用推進事業 効率的な活用と自立化に向けた運営 負担金7,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域の人口・世帯数（+150人） ②シェアサイクルの利用回数（+3,245回） ③まちなかキャンパスうえだ来訪者、利用者数（+1,891人） ④上田城跡来訪者数（+114千人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	上田市まち・ひと・しごと総合戦略 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/1531.html 地方創生推進交付金事業の効果検証 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/2184.html

事業概要：地域価値の向上と健幸づくりによる未来創生事業

継続

申請者	長野県上田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	300,073千円 (99,248千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多様な人材に対する就業機会の拡大や意欲・能力を発揮できる環境整備と市内の企業価値創出を図り、移住・定住を促進し、人口の社会増加を目指す。 健康チャレンジポイントのデジタル化による市民の健康づくりや市内企業の健康経営支援に取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 商工団体、地元大学、民間企業等との連携、健康経営支援を通じて、多様な人材に対する就業機会の拡大や意欲・能力を発揮できる環境整備を実施することによって市内企業の企業価値創出、生産性向上、付加価値向上を図り、移住・定住を促進し、人口の社会増加を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○若者・移住者・学卒者の就職支援事業（委託費） ・コーディネーター配置、研修・イベント開催等 33,248千円 ○人材不足対策投資促進事業 ・省力化・効率化、職場環境整備等への補助 30,000千円 ○未来創生GX推進事業（負担金） ・GX取組支援、コスト高研究会実施等 18,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①行政支援による移住者数（+300人） ②製造業の粗付加価値額（+25.50億円） ③省力化・効率化設備投資支援数（+18件） ④スタートアップ支援数（+30件） ⑤人的資本経営実践企業数（+45件） ⑥健康チャレンジポイント制度の参加者数（+3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	上田市まち・ひと・しごと総合戦略 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/1531.html 地方創生推進交付金事業の効果検証 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/2184.html

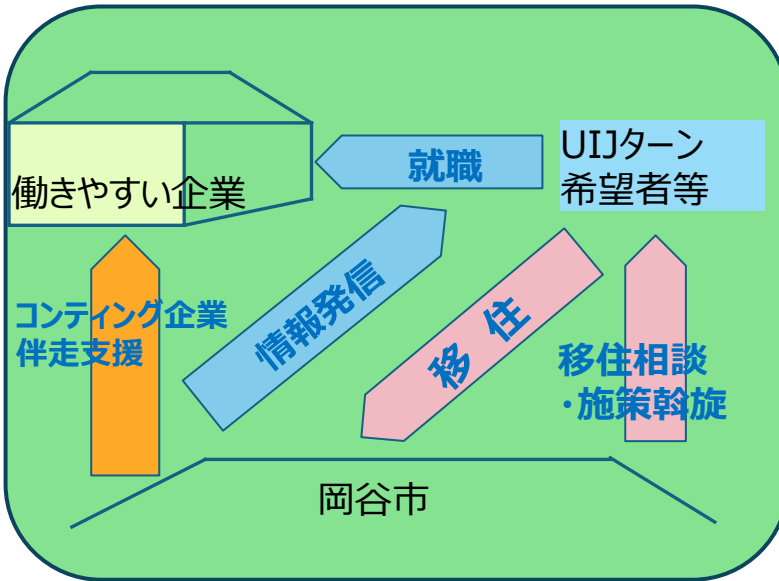
事業概要：地域資源の魅力向上と雇用支援による地域活力促進事業

新規

申請者	長野県上田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	143,362千円 (51,760千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の特色を生かした商品・サービスの開発・改良への補助、マーケティング活動支援で地場産業の生産性向上、付加価値向上を目指す。 ・自治体独自の就労プラットフォームを開設し、オンライン上での地域企業と就労者のマッチングを促進する。 ・地域の魅力発信と移住の不安解消を支援し、移住交流を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域が持つ特色を磨き上げるとともに、民間企業へのDX化支援による生産性向上や雇用支援を通じて、地域全体の活力を促進し、適切な発信を行うことで移住人口、交流人口、関連人口の増加を目指し、人口減少を抑制する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・稼ぐ地域のブランドプロモーション支援事業（補助金）10,000千円 地域資源、農産物、自然、風土、文化を生かした商品・サービスの開発・改良及び、販路拡大・マーケティング活動を支援 ・DXフロントランナー伴奏支援事業（負担金）10,000千円 様々な企業のニーズ、フェーズに応じたDX活用支援を実施する ・DXを活用した就労プラットフォーム事業（委託料）15,400千円 就労プラットフォームで、地域企業と就労者のマッチングを促進する ・農業プロセス革新導入支援事業（補助金）9,000千円 スマート農機やシステム導入を補助することで、市内農業の生産性向上を図る						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①行政支援による移住者数（+372人） ②補助対象商品等の年間販売額（+1,800万円） ③事業実施による、DX活用支援企業数（+30社） ④農業プロセス革新導入支援事業数（+27件） ⑤累計創出賃金額（+7,000万円）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	上田市まち・ひと・しごと総合戦略 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/1531.html 地方創生推進交付金事業の効果検証 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/2184.html

事業概要：家族にもやさしい職場づくりでU I J ターン強化事業

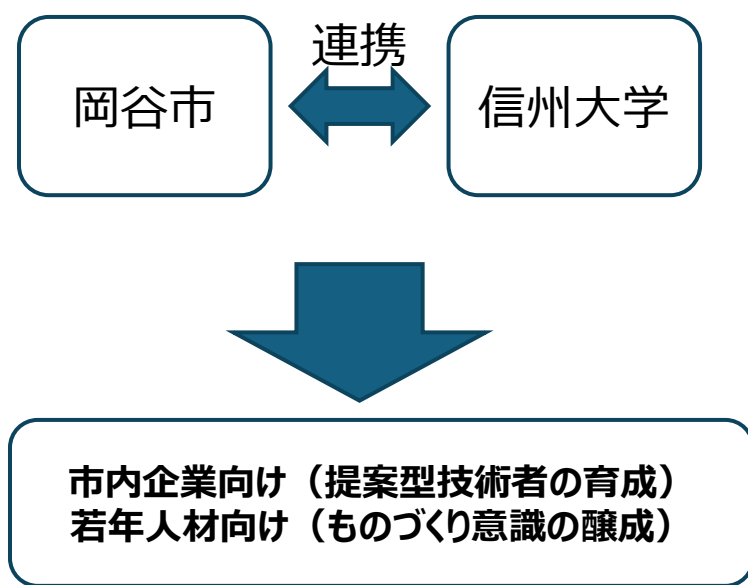
旧制度（推進）

申請者	長野県岡谷市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	14,930千円 (4,950千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	求職者が求める良好な人間関係やワークライフバランスなど、働きやすい職場環境を備えた企業を増やす。働きやすい職場環境を備えた企業の採用情報等をUIターン希望者などに効果的にPRし、人材確保に繋げる。企業が採用した人材を移住相談、移住施策の斡旋を通じて移住に繋げる。働きやすい職場環境の構築、企業の人材確保、UIターンという3つの目標を関連づけて達成していく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 コンサル企業が伴走支援し、良好な人間関係やワークライフバランスなど、働きやすい職場環境整備等について、参加企業の成果指標設定と成果指標到達に向けた指導・達成確認を行う。また、参加企業の魅力をUIターン希望者等に対面、オンラインなどにより効果的に発信し、採用・UIターンに繋げる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・新規企業の成果指標設定と成果指標到達に向けた指導・達成確認660千円×3社＝1,980千円 ・1年目参加企業の追加目標設定、到達に向けた指導。成果指標継続管理 80千円×9社＝720千円 ・生成AI活用セミナー・導入事例セミナー 60千円 ・WEBメディアPR戦略、情報発信方法再構築520千円 ・民間移住サイト等への記事作成・掲載1,670千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数 (+40人) ②成果指標達成企業への就職者数 (+60人) ③成果指標達成企業数 (+32社) ④事業への参加企業数 (+32社)	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.okaya.lg.jp/tech noplazaokaya/index.html

申請者	長野県岡谷市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	4,379千円 (4,379千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市の「いいね！」と感じてもらえる事物をPRできる動画の制作・配信や大都市圏におけるプロモーションイベントの実施を通して、本市を知らない・訪れたことがない層に向けたシティプロモーションを図るとともに、市民や関係人口に向けて、本市の魅力を再発見し、シビックプライドを醸成する機会を創出する。PR動画の2次利用やイベントの開催などによる継続的なシティプロモーションを実施することで、最終的に本市への移住定住を促し、将来展望人口の維持を図り、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 映像配信サービスで配信されているコンテンツを制作している事業者により本市のPR動画を制作し、市内外におけるシティプロモーションを実施し、継続的な移住定住の促進を図る。 また、大都市圏において、トップセールスにより岡谷の魅力を発信するためのプロモーションイベントを開催する。開催にあたってSNS広告で周知を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・映像制作にかかる経費（委託料）4,000千円 ・イベント周知にかかる経費（SNS広告料）99千円 ・イベント開催にかかる経費（会場使用料）110千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①行政サポートによる移住者数（+10人） ②移住相談者数（+30人） ③岡谷市ホームページにおける移住ページ「岡谷に住む」アクセス数（+1,000件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okaya.lg.jp/soshiki/karasagasu/tiikisousei/mahishisousei/tiikisousei/shiseijoho/50/27306.html (令和8年6月公表予定)

事業概要：次世代空モビリティシステム開発を通じたものづくり人材育成プロジェクト

新規

申請者	長野県岡谷市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,150千円 (14,050千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市場規模が期待される空モビリティシステム（空飛ぶクルマ、ドローン等）に通じた事業を実施し、市内製造業の技術者、若年層のものづくり人材の育成等に取り組むことで、成長産業への参入のきっかけを創出、質の高い雇用の増加、さらにはものづくり基盤の維持を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 信州大学の知見や技術等を活用し、市内製造業の技術者や次世代を担う子ども等の若年人材を対象に、急激な市場規模が期待される空モビリティシステムを通じた事業を実施する。 市内企業の技術者向けに、次世代空モビリティシステムの勉強会やセミナーを開催し、将来のリーダーとなる提案型技術者の育成を行う。 若年層向けに、空モビリティシステムに特化した、高度でありながら楽しさや魅力ある若年層向けのワークショップを開催する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 企業の技術者の育成、若年層向けのワークショップ、地元就職を促進するための学生向けオープンファクトリーの実施 信州大学への負担金 14,050千円 (人件費6,320千円、消耗品費3,770千円、借料750千円、委託料1,100千円、旅費1,850千円、謝金260千円)						
主なKPI	①市内製造業の粗付加価値額（+113億円） ②事業への参画企業数（+7社） ③事業への参加企業における就職者数（+7人） ④事業へのワークショップ参加者数（+1,200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okaya.lg.jp/soshiki/karasagasu/tiikisousei/mahishisousei/tiikisousei/shiseijoho/50/27306.html (令和8年6月公表予定)

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	長野県須坂市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,004千円 (7,489千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内の中小企業のデジタル化を支援し、生産性の向上を図る。 ・企業のデジタル化により、コンサル・企画・ITなどの若者や女性に人気のある新たな雇用の創出を促す。 ・人材不足に悩む企業と多様な働き方を望む若者や女性等をマッチングできる環境を整備することにより、企業の人材不足の解消と魅力ある雇用機会の創出につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内中小企業のニーズに合わせたデジタル化を推進するためのセミナーや情報提供、デジタル化のための伴走支援を行うとともに、デジタル人材の育成を進めるための講座を開催する。また、安定的な雇用の確保と若者・女性等の就労率向上のため、デジタル人材育成講座受講者とデジタル化の伴走支援を行った企業とのマッチング支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○市内中小企業デジタル化支援業務 ・中小企業DX推進支援事業（委託料）4,989千円 ○デジタル人材育成支援業務 ・デジタル人材育成事業（委託料）1,500千円 ○市内中小企業と求職者等とのマッチング支援業務 ・職業観醸成事業（委託料）1,000千円						
主なKPI	①人口の社会増加数（+100人） ②伴走支援による業務改善件数（+10件） ③デジタル人材育成セミナー受講人数（+50人） ④企業見学会等参加者数（+30人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.suzaka.nagano.jp/gyosei/zaisei_gyosei/7/3956.html

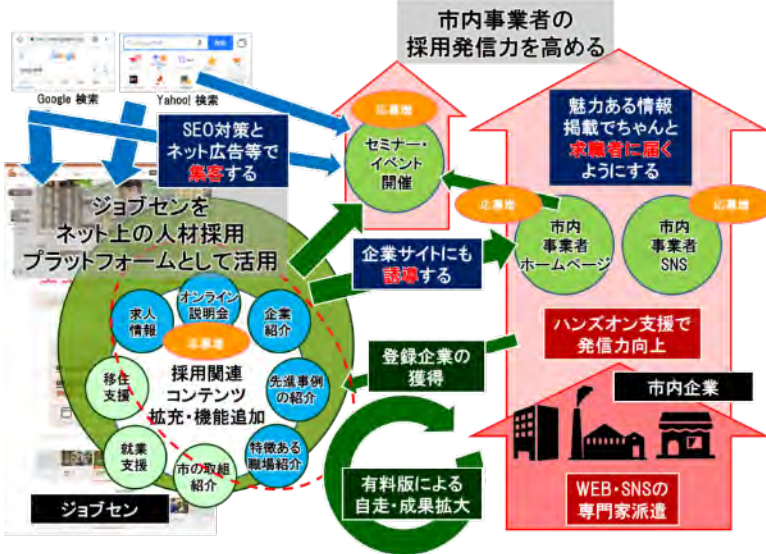
事業概要：Komomag（こもまぐ）情報ハブアプリを活用した地域活性化事業

継続

申請者	長野県小諸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	283,716千円 (12,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地域資源を十二分に活用して、地域の魅力（ブランド）を確立するとともに、市内外へ訴求する。加えて、観光・交流人口の増加による観光業や各種サービス業の活性化、地元特産品の販路拡大による「農業・食品加工・流通販売」のいわゆる6次産業の活性化により、雇用の確保を図る。さらには、小諸に対する「郷土愛」を醸成することにより、移住のみならず定住の促進、定住人口の確保も図る。これらの取組みを日本版DMOである「こもろ観光局」と連携して実施することで、住民にとっても観光交流客にとっても魅力ある、「住みたい 行きたい 帰ってきたい」地域を形成していくことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 小諸市動物園開園100周年を契機に、若年層・ファミリー層を対象とした動物園リニューアルと、まち情報一括管理アプリ「komomag」による観光情報発信・決済連携・CRM機能を一体的に整備する。懐古園・動物園、駅前公園イベント、中心市街地店舗を面的に結び、市内回遊と観光消費の拡大を図る。あわせて、日本版DMOこもろ観光局や商工団体等と連携して、観光・移住・就業を一体的に推進する「稼げる観光地域づくり」を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・まち情報一括管理アプリシステム構築業務 ・事業概要：まち情報を一括管理することにより、市内各地の魅力ある観光スポットへの来訪を促すためのアプリを構築する。 システム運用費 4,000千円、イベント実施及び宣伝広告費 3,000千円 システム拡張費 5,300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（1人当たり1回の旅行）（+1,899円/人） ②小諸城址・懐古園の有料入園者数（+2.4万人） ③観光地入込数（+10.6万人） ④若者移住者数（30代以下）（+4,160人） ⑤交流人口（+25.82万人） ⑥komomagアプリの月間アクティブユーザー数（+1,200万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年6月公表予定 （効果検証） https://www.city.komoro.lg.jp/sosh/ikikarasagasu/somubu/kikakuka/3/1/7/16758.html

事業概要：地域の就業率アップを目指した情報発信力向上事業

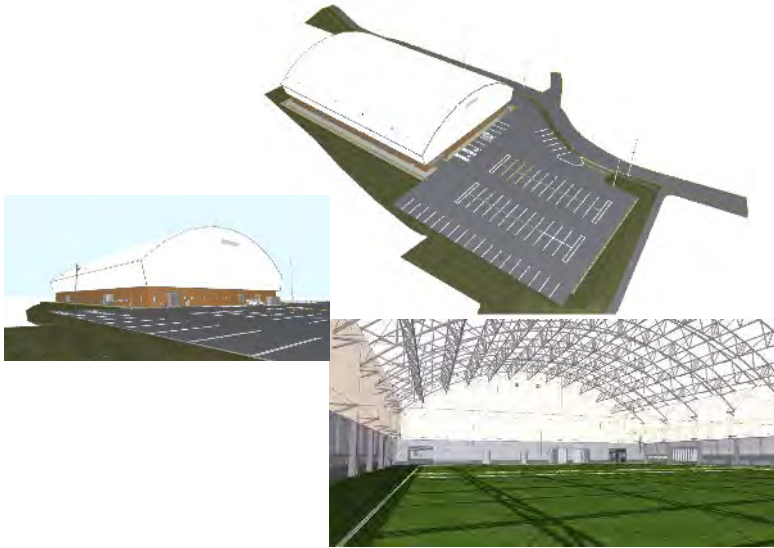
新規

申請者	長野県小諸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	40,260千円 (10,230千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・企業等の情報リテラシーの向上により、質の高い情報が発信されると検索エンジンを介した知名度（認知度）が著しく向上する。これは、求職者から選ばれる企業となるための大きな要因であり、他社との差別化につながることから人材確保が図られる。また、その様な企業等が増えることで情報発信力が高まり、就業マッチングのプラットフォームであるジョブセンが活性化することで、地域全体の人材確保を推進し、地場産業衰退の改善を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市が情報発信を支援する専門家を地場企業等へ派遣し、直接対面でサポートを実施。採用情報のほか、企業等（自社）のホームページやSNSでの情報発信の体制を整える。ノウハウを吸収した企業等は主体的に自社の強みや採用に関する情報を発信し、求職者に訴求していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・企業等向けWEB・SNS専門家派遣業務（委託料）5,280千円 ・インターネット広告ほか（広告料） 3,300千円 ・コンテンツ制作・機能構築費（委託料） 1,100千円 ・セミナー、イベント開催費（委託料） 550千円						
主なKPI	①付加価値増加額（+4,821万円） ②本事業を介しての地域企業への就職者数（+6人） ③事業に参画する企業等数（+60社） ④本事業に係るホームページ閲覧数（+64%） ⑤利用者満足度（+9点） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.komoro.lg.jp/sosh/ikikarasagasu/somubu/kikakuka/3/1/7/15420.html (令和9年6月公表予定)

事業概要：地域内加工と地域内消費による森林の6次産業化プロジェクト

継続

申請者	長野県伊那市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	325,000千円 (113,000千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	地域材の地域内での利用を促進するため、新たな商品・サービス等の開発支援や、地域の森林関連産業の担い手確保に向けた関係人口を増やす取組等を行い、地域資源が地域内での需要に支えられる仕組みを作ること、森林関連産業が地域経済の主要産業の一つとして伊那市を支える持続可能な社会の構築を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域木材を活用した商品の開発を進めると同時に、製品の生産・売上の向上を目指す。また、外部からのプレーヤーが地域内の事業者と連携し、新商品の開発等に参画する取組を促進する。					   		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○事業推進チームによる木材活用の拠点形成事業 ・プロジェクト推進チームの運営（委託料）：16,000千円 ・森と木材の相談窓口の設置・運営（委託料）：2,000千円 ○地域木材の新商品・サービス等の開発事業 ・地域材商品の開発支援（委託料）55,000千円 ・地域材の安定供給に関する調査、研究（委託料）17,000千円 ○地域内プレーヤーの活性化と外部プレーヤーの参画促進事業 ・イベント等開催・企画運営費（委託料）：23,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①林業事業体による新規雇用者数（+15人） ②市内事業者による地域材利用製品（丸太、燃料材を除く）の売り上げ高（+5,000万円） ③伊那木材センター（丸太市場）における市内業者への丸太販売金額（+2,500万円） ④地域材による商品開発数（+6個）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.inacity.jp/shichoshitsu/kaiken/kaiken2026/kaiken080213.files/04_.pdf	

申請者	長野県伊那市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,365,651千円 (1,116,457千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	年間を通して天候や季節に左右されない屋内スポーツ施設を建設し、大会やイベント、合宿利用などを誘致開催することで、地域経済の活性化と住民交流による地域の活力を図る。 本市には、雨天時の練習場所がなく、合宿等の誘致において敬遠された例がこれまでもあり、大規模の屋外競技が利用できる屋内スポーツ施設を建設することにより課題を解決する。 宿泊を伴う県内外からの合宿、イベント誘致により、観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域経済活性化、交流促進のための屋内スポーツ施設を新設 ○構造：骨組膜構造（鉄骨造） ・建築面積： 約2,680㎡ ・アリーナ面積：約2,125㎡（人工芝） ・ミーティングルーム、トイレ、更衣室、管理室、器具庫、WIFI等完備 ・フットサル、ベースボール等器具完備						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 （仮称）美原防災スポーツセンター建設事業（2年目） ・建築工事 874,310千円 ・電気設備工事 109,055千円（うち、WIFI工事863千円） ・機械設備工事 46,435千円 ・設備整備工事 79,883千円 ・備品整備 7,345千円（うち、対象経費6,774千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+477,286円） ②スポーツ合宿件数（+6回） ③スポーツ大規模競技大会開催件数（+3回） ④総合型地域スポーツクラブ会員数（+300人） ⑤定期的な運動習慣がある人（1回30分、週2日以上）の割合（+2.6%） ⑥観光地利用人数（+156,500人/年）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.inacity.jp/shichoshitsu/kaiken/kaiken2026/kaiken080213.files/04_.pdf

申請者	長野県伊那市					初回採択回	令和7年第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	95,000千円 (55,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	この地域の未来を創る若者世代の活力がこの地域の原動力となり、地域内外の様々な人との交流を通じて、ひとりではできないことができる経験を地域全体で経験し、衰退している既存の地域コミュニティに代わる、あるいは補完する新たなコミュニティを創出し、進学や就職などでこの地域を離れてしまった人も関わり続けることができる仕組みを構築する。 若年層が地域との関わりを通じて、「自分が地域の一員である」という感覚を生じさせることで、地域に対する「帰属意識」を醸成し、この地域で自分のやりたいことを実現できる「地域での将来の展望」を高め、若年層の定着、Uターンを促す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ●人々が多様な地域資源（ヒト・コト・モノ・情報など）に興味関心を深め、新たな価値を創出する、コミュニティ形成を促す環境づくりを行う。 ●地域資源情報の可視化による魅力発信を行う。 ●活動を促進させるための拠点の整備を行う。 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域資源（ヒト・コト・モノ）情報の棚卸し、プラットフォーム情報の管理・更新 3,000千円（委託料） ・地域資源情報の活用、マッチング（委託料）7,000千円 ・官民合わせた地域内での様々なイベントや活動に関する情報を掲示、発信する場の運用（委託料）2,000千円 ・若者を中心とした「まち記者」による若者目線での地域の魅力・課題の収集・発信体制の運用（委託料）5,000千円 ・地域資源の魅力の可視化ツール（デジタルサイネージなどを用いた）の運用（委託料）3,000千円 ・拠点整備工事（委託料、工事請負費）35,000千円						
	主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域へのUターン数（+270人） ②かみいなシゴトフェスへの出展事業所数（+57事業所） ③地域資源を活用した共助・共創・協働プロジェクトの創出件数（+30件） ④地域資源を活用した共助・共創・協働プロジェクトに関わる内外の若年層の数（+300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.inacity.jp/iju/inawoshi ru/sharing/ShareEco2.html

新規

申請者	長野県伊那市	初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,513,200千円 (64,935千円)
事業類型	ソフト事業 ✓ 拠点整備事業 ✓ インフラ整備事業 ✓		
目的・効果	・伊那北駅の「地域賑わい・交流拠点施設」で生まれる賑わいを伊那市駅側へ再波及させる循環を構築する。 ・公共空間の高質化、滞留時間の延伸を通じて、消費と雇用を生み出す持続可能な地域経済の好循環を目指す。 ・伊那北駅を交通結節点として機能強化し、交流人口の増加と生活利便性の向上を図ることで、エリア価値を高め民間投資を促す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県立高校再編に伴う人の流れの変化を好機と捉え、伊那北駅に賑わい・交流拠点を整備して商業圏の波及と再波及による循環を構築する。あわせて自由通路新設により東西一体化と回遊性を高め、安全で快適な歩行動線を確保し、交通結節点としての機能を強化する。さらに、人流データの分析や社会実験・イベントを通じて市民参画と合意形成を促し、交流広場整備やシェアサイクル等を組み合わせて「人中心」のまちなかを推進することで、滞在時間の延伸、空き店舗等の利活用、消費・雇用の創出につなげ、「選ばれる地域」の実現を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・多角的なデータ分析によるまちづくりの可視化と活用（委託料） 23,000千円 ・シェアサイクルによるまちの賑わい創出（委託料） 20,600千円 ○拠点整備事業 ・地域賑わい・交流拠点整備 11,835千円 ○インフラ整備事業 ・都市環境整備事業（都市構造再編集集中支援事業） 4,500千円 伊那北駅への自由通路を新設		
主なKPI	①市における転入超過数（+1,150人） ②まちづくりワークショップ（対話の場）累計参加者数（+3,240人） ③伊那北駅の平均乗降客数（乗車数×2）（+350人／日） ④伊那北駅前広場でのイベント数（+8回／年）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.inacity.jp/shisei/shin_gikaikaigiroku/tihousouseisingikai/index.html

事業概要: ～森といきる、未来をつくる～ 共創型エコシステム創生プロジェクト

新規

申請者	長野県伊那市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	378,000千円 (124,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「森といきる」ブランドを基盤に、資源とDXを融合し地場産業を高付加価値化する自立型経済モデルへ転換し、稼ぐ力を最大化する。 ・実践型インターン等から、創業・事業継承へ繋げ、UIターンを含む多様な人材が関わり、挑戦が連鎖する産業生態系を構築する。 ・DXによる文化継承や国際連携で収益力を高め、市民の誇りと次世代の定着が共存する「地域外需要の獲得と豊かさ」を両立する。 ・官民共創の推進体制を確立し、認定制度や収益事業の運用を通じて自走化を達成し、持続可能な循環型社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少と域外消費流出を背景に、「森といきる」ブランドを共通基盤とした自立型経済モデルを実装する。点在する自然や文化資源をDXや国際的知見で再編集し、地場産業の高付加価値化を目指す。あわせて、実践型インターンやセミナー等を起点に、若者や女性等の意欲を、創業や事業継承へ繋ぐ「森のような」人材還流の生態系を構築する。これにより、経済成長と市民の誇りが共鳴する仕組みを官民共創で運用し、次世代が愛着を持ち、地域の豊かさを育む自立的な「森のような」経済モデルの実装を確立する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域ブランドエコシステムプロジェクト（委託料） 55,000千円 ・ローカルイノベーション育成事業（委託料） 15,000千円 ・伝統芸能・文化資産価値共創プロジェクト（委託料） 10,000千円 ・観光・地域資源DX化による周遊促進事業（委託料） 9,000千円 ・文化財・歴史資源のデジタル活用事業（委託料） 10,000千円 ・多角的プロモーション実装事業（委託料） 20,000千円 ・森と学びを軸としたフィンランド連携事業（委託料） 5,000千円						
主なKPI	①付加価値増加額（+9,000万円） ②「森といきる」創出事業・プロジェクト数（+35件） ③観光客一人当たり消費額（+360円） ④事業に関係する地域へのUIターン数（+45人） ⑤継続的に関与する関係人口数（+2,100人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.inacity.jp/shisei/shingi_kaikaigiroku/tihouseuseisingikai/index.html

申請者	長野県駒ヶ根市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,700千円 (6,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少等の影響による地域経済の停滞やコミュニティ機能低下等が想定される。この課題に対し、多世代の地域住民と共に地域の魅力を活かした取組を進めることで、新たな人流をつくり、持続可能なまちづくりを目指す。 ・日常的に関わる場を中心市街地に整備し、交流を図ることで、誰もが居場所と役割を持ち、人と人が支え合い、地域の活力や安心な暮らしを確保する全世代・全員活躍の「駒ヶ根市版生涯活躍のまち」を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光による経済効果を駒ヶ根高原だけでなく、市内全体に波及させるため、一定期間滞在する仕組みを構築・発信し、関係人口を拡大し、地域経済の活性化につなげる。また、まちなかが縮小しているという課題に対し、地域住民による複数拠点施設の活用でまちなかの活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 地域資源を活かした関係人口拡大事業（実施主体：JOCA） ・プログラム研究、広報費（委託料）2,500千円 大使村プロジェクトを柱とした駒ヶ根ファンづくり ・プログラム構築及び実証、推進体制整備、広報費 1,200千円 地域共生拠点活用事業（実施主体：JOCA） ・実証実験・仕組み構築（高齢者の参画促進）（委託料）2,500千円						
主なKPI	①市内への移住者数（+300人） ②教育旅行及びワーケーションの受入人数（+90人） ③大使村プロジェクトの参加人数（+150人） ④拠点施設の利用者数（+1500人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.komagane.nagano.jp/soshikiichiran/kikakushinkoka/kakuchoseigakari/1/1/13605.html

事業概要：駒ヶ根キャンプセンターを拠点とした地域観光資源の再生と活用

継続

申請者	長野県駒ヶ根市						初回採択回	令和 7 年度第 2 回募集	
事業計画期間	R7-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	195,356千円 (180,356千円)	
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業				
目的・効果	市の観光施設である駒ヶ根キャンプセンターについて、中央アルプス山麓の豊かな自然環境や周辺観光施設を活かした拠点施設として整備し、観光地内及び市内の周遊性の向上、地域特性を活かした体験型学習プランの造成による満足度の向上、デジタル化による利便性の向上や新規顧客の獲得を図る。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 駒ヶ根キャンプセンターを拠点施設としてリニューアルするとともに、体験型のメニューなどを造成し、利用者の満足度向上や周遊性の向上を図る。 管理棟、テントサイト、ツリーハウス、コテージ、共同トイレなどの改修 全体事業費 195,356千円（うち交付金対象105,177千円）						イメージパース（テントサイト） 		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 ・建築工事費 149,413千円 ・園路、外構工事 30,943千円 【合計】 180,356千円								
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①一人当り観光消費額（+1,500円） ②観光地利用者数（+10万人） ③施設利用者数（+780人） ④施設売り上げ（+850万円） ⑤高原周遊「さんさんバス」利用者数（+1,300人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.komagane.nagano.jp/soshikiichiran/kikakushinkoka/ki kakuchoseigakari/1/1/13605.html	

事業概要：サブカルチャーコンテンツを活用したまちづくり事業

継続

申請者	長野県中野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	近年、漫画やアニメによるコンテンツ産業の市場拡大が著しく、当市においても中野市魅力発信バーチャルYouTuber「信州なかの」ちゃんや、「週刊少年マガジン」で連載中の漫画「彼女、お借りします」とのタイアップ事業により、サブカルチャーコンテンツの持つ訴求力を活かした魅力発信に取り組んでいるところであるが、従来の取り組み内容をブラッシュアップし持続的に事業を行うことで、市内外にサブカルチャーの「聖地」としてのイメージを定着させ、魅力のあるまちづくりを推進し、更なる地域活性化を図ります。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、行政主導による交流・関係人口の創出を目的とした「まちづくり」及び地域の民間事業者の「稼ぐ力」との官民連携による地方創生を図るため、バーチャルYouTuber、痛車フェス、地元出身漫画家とのタイアップによる聖地巡礼、高齢者向けeスポーツなどのサブカルチャーコンテンツによる「町おこし」を行います。 上記のサブカルチャーコンテンツを通じ、当市にしかない「魅力あるまちづくり」を図ります。					 ©宮島礼吏/講談社	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「信州なかの魅力発信バーチャルYouTuber 信州なかの」 ・動画作成等業務委託料 1,100千円 ○「2026信州痛車フェスinなかの」 ・関係人口創出事業委託 880千円 ○タイアッププロモーション戦略事業 ・デジタルコンテンツ活用推進委託料 1,000千円 ・プロモーション用イラスト使用料 1,980千円 ・プロモーション委託料 1,540千円 ○eスポーツを活用した地域活性化事業 ・eスポーツ大会開催業務委託料 3,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光地利用者延べ人数 （+3万人） ②地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング （+30位） ③関連SNSフォロワー （+450人） ④移住セミナー参加者数 （+30人） ⑤住みたい田舎ランキング （+9位） ⑥30歳代の転入者 （+15人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2023122700038/

事業概要：郷土の文化芸術を未来へつなぐ拠点整備事業

継続

申請者	長野県中野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	492,780千円 (450,780千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・（仮）中野市美術館の新たな建設は、気軽に美術に触れることができる場の提供のみならず、来館者にとって、くつろぎの場、交流の場となり、交流・関係人口創出につながる。 ・郷土の作家及び市ゆかりの作家の作品並びに市出身の著名人に関する資料を展示・紹介することで、市の魅力の再発見と新たな魅力の発信につながる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光客や地域住民文化芸術の振興を図るとともに、中心市街地の賑わいと活力を高めることで、交流・関係人口の創出に寄与し、「音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境の整備」と「文化財の保護や保存、活用」、「にぎわいと活力あるまちづくりの整備」の満足度の向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・令和8年度（仮）中野市美術館整備工事 450,780千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+1,400万円） ②観光地利用者延べ人数（+21,000人） ③施設利用者数（+5,000人） ④企画展開催（+5回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2025112700011/

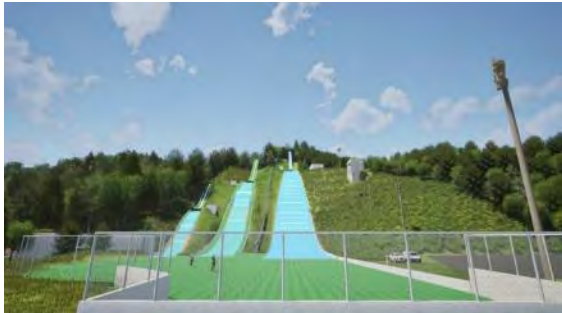
事業概要：地場産業DX推進のためのデジタル支援及び支援拠点構築事業

新規

申請者	長野県大町市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	89,870千円 (8,250千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・IT化が遅れている事業者の支援、IT人材の育成・確保を通じて、地場製品の販路拡大や企業情報の発信強化を目指す。 ・デジタル支援拠点の形成から、既存産業と新規事業の融合させ、新たな価値を生み出すハブとなることを目指す。 上記により、多角的な課題（暮らしやすさの充実や総合的なブランド力の向上、多様な「仕事」、「働く場」をマッチング等）を解決する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ICTでの情報発信の未発達により、市内産業の販路拡大・市内消費の活性が滞る状況である。市内全事業者のIT化の支援、IT人材の育成、誘致事業者を含むコミュニティの作成により、既存事業のさらなる向上と新規事業を創出し、情報発信を促進することで、各地域資源の認知度や付加価値を高め、他の地域との差別化を図り、情報発信力や競争力の面での比較優位性を獲得し、市内外から「大町市のファン」を獲得していく。これにより、多角的な課題（暮らしやすさの充実や総合的なブランド力の向上、多様な「仕事」、「働く場」をマッチング等）を解決する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・市内事業者のIT化支援事業：6,160千円 ・IT人材の育成・確保を実現するセミナーの開催：990千円 ・地域イベントや市域内外での販促活動の支援：1,100千円						
主なKPI	①地域産業全体の付加価値増加額（+1.03億円） ②本事業関連ページの利用者数（+38,000人） ③本事業にてデジタル化に取り組んだ事業者数（+25者） ④IT人材の育成・確保を実現するセミナーの参加人数（+45人） ⑤支援事業者の満足度調査（5段階中3.5）（+9.5ポイント）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

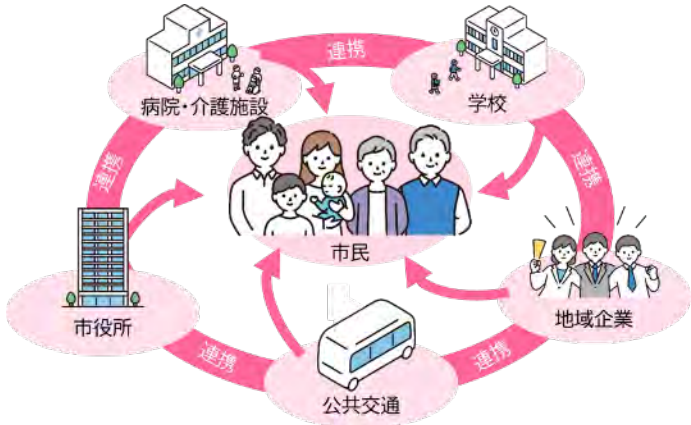
事業概要：市営飯山シャンツェのリノベーション整備事業

継続

申請者	長野県飯山市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,107,874千円 (1,069,936千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・市営飯山シャンツェを年間を通じて利用できるようリノベーションするとともに、市街地を一望できる眺望を活かし、観光拠点のひとつとすることで、競技利用人口と観光利用人口の増加、関係人口の増加を図り、観光消費額の拡大と地域活性化をもたらす拠点とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市営飯山シャンツェをリノベーションし、グリーン期の競技活用を可能にするとともに、その眺望を活かした観光スポットとして観光資源化することで、競技者のみならず観光客の誘客を図る。 ○地域の多様な主体の参画 全国屈指のジャンプ強豪校である飯山高等学校のスキー部員による小中学生の指導や交流を行い、ジャンプ競技の普及や底辺拡大に繋げる。 「信越自然郷」と呼ばれる信越9市町村での広域協定を活かし、温泉や米など互いの魅力をイベントに反映するとともに、選手強化においても連携して取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 リノベーションした飯山シャンツェの宣伝委託、観光ツアーの開催等 ○拠点整備事業 市営飯山シャンツェのリノベーション整備 ・建築機械工事 423,291千円 ・人工芝化工事 504,845千円 ・電気設備工事 161,943千円 ・工事監理費 12,474千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+1.8億円） ②市営飯山シャンツェの利用者数（+702人） ③市内宿泊者数（延べ人数）（+852百人） ④当該施設を利用したイベント実施数（+9回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakuchosei/sosekouhukin/45280

事業概要： 便利で暮らしやすい「若者に選ばれるまち」の構築～茅野市DX推進プロジェクト～

旧制度（推進）

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	284,933千円 (35,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	当市が総合戦略に掲げた「若者に選ばれるまち」の実現のため、データやデジタル等の先端技術を活用し、市民が便利で暮らしやすさを実感できる新たなサービスの展開と、新たな技術が地域内に持ち込まれることにより付加価値の高い新たな産業や雇用を創出すること、またこれらの情報を効率的かつ広域的に発信することで、地域における若者の移住・定住の促進と、人口減少・少子高齢化による地域の担い手不足の解消を図り、子どもからお年寄りまで全ての市民が暮らしやすいまちの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業においては、地域DXを推進することで総合戦略に掲げた「若者に選ばれるまち」の実現を目指す。そのため、「データ連携基盤」を活用した、デジタルサービスを提供及び情報発信、また構築する職員や利用する市民等の情報リテラシー向上などの施策を並行して行い、便利で暮らしやすい街づくりに寄与する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタルサービスプロモーション事業 2,600千円 災害時の円滑な避難所受付と迅速かつ正確な避難者情報の収集及び災害支援に資する避難所マネジメントシステムの実証及び実装事業。 ○デジタル人材育成、情報リテラシー向上 1,500千円 ○DX専門人材による支援 31,800千円		
KPI			
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html		
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①都市OS利用者（ID登録者）数（+14,130人） ②都市OSを活用したサービスの実証件数（+19件） ③デジタル人材研修受講者数（+590人）		

事業概要：立川市を起点とし多摩地区及び首都圏からの交流人口・関係人口の拡大及び地域資源への関わりを通じた関係人口創出事業

旧制度（推進）

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,600千円 (4,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・首都圏でも茅野市とアクセスの良い多摩地域との連携による地域の活性化 ・IT関連企業の誘致や、首都圏のIT企業につとめながら茅野市に暮らしつづけるライフスタイルの創出 ・地域資源の活用に地域外市民の視点を生かした「コト」づくり事業の創出 ・新たな関係人口を通じた労働人口の流入による高齢化・生産年齢人口減少の抑制		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業を通じて構築した茅野市と多摩地域との連携、新たに造成した茅野市独自のワーケーションプログラムを活かして、都市部等でプロモーション活動を行い新たな関係人口の獲得を目指していく。 また、本事業を通じて茅野市ととの関わりが生まれた新たな関係人口が定着していくための支援を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・都市部企業等を対象としたワーケーションプログラムによるプロモーション事業 2,500千円 ・大学生等を対象とした地域活動の支援に関する事業 800千円 ・本事業全体を通じて創出した関係人口者の事業定着化に向けた伴走支援 1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①IT関連企業の首都圏等からのサテライトオフィスの設置および起業数（+6社） ②立川市を始めとする都市部のIT企業等と行うイベント等への参加者数（+110人） ③地域資源への「関わりしろ」について発信した情報の到達数（+5,950件） ④地域資源に関する「コトづくり」事業等への参加者数（+100人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html

事業概要：ハケ岳ファン拡大を通じた関係人口創出事業

旧制度（推進）

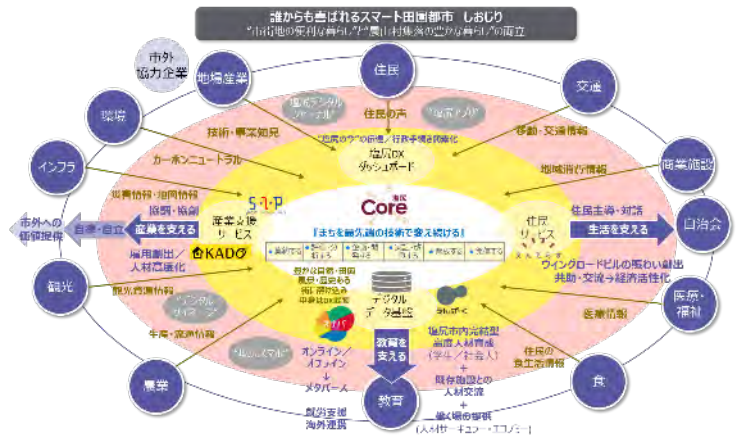
申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	44,500千円 （15,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・「若者に選ばれるまち」の実現。20～30代及び生産年齢人口の減少の抑制 ・ハケ岳のある暮らしを実現する「茅野市」の認知度向上、ハケ岳ファンの拡大 ・茅野市を知り、訪れてくれた方が当市の魅力を感じ移り住んでくれるようになる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 20～30代をターゲットとしたハケ岳を中心とした多様な魅力のある暮らしを伝えるプロモーション活動 若い世代や女性を対象に、UIターン者が地域での関りを定着するための多様な稼ぎ方の支援を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ハケ岳のある暮らしプロモーション動画の制作、発信 6,500千円 ・20代～30代を対象としたハケ岳とその山麓での暮らしの魅力を伝えていくイベント3,000千円 ・若者や女性対象とした起業・創業に向けた支援 3,000千円 ・事業全体の情報発信及び関係人口の計測 2,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIリターン数（県外からの転入者増分）（+60人） ②イベント参加者等による新たな事業の創出（+1件） ③プロモーション動画等の到達数（+55万件） ④プロモーションイベント等への参加者数（+90人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html

申請者	長野県茅野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	292,972千円 (35,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	駅前商業ビルの空き床に、ビジネスや教育、情報交換、交流、観光情報の取得など様々な目的で、地域内外の人が必然的に集積する施設を整備。整備施設を活用したイベントや、交流事業等を行うことで生産年齢人口の維持や駅周辺の滞在人口の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 駅前商業ビル「ベルビア」1階の空き床に、ビジネスや教育、情報交換、交流、観光情報の取得など様々な目的で、地域内外の人が必然的に集積する交流拠点施設を整備する。また、当該施設の整備後は、施設に入居する企業や、地域内での様々な交流機会を求めているプレーヤーをターゲットに既存観光地と茅野駅周辺を来訪客が周遊できるようなイベントや共創事業、起業を実現したばかりの経営者や、地元企業、大都市圏に拠点を置く大手企業等との間のビジネスマッチングや拠点間交流・プロモーションを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・共創事業開催経費（委託料） 15,000千円 ・ワンストップセンター専門人材（謝礼） 2,000千円 ・大都市圏のコワーキングスペース等との拠点間交流・プロモーション経費（委託料） 12,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口比率 （▲0.90%） ②茅野駅周辺の日平均滞在者数 （+900人） ③セミナー、交流事業等の来場者数 （+2300人） ④ワンストップセンターの相談件数 （+115件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/dai2jisougousenryaku.html#download （効果検証） https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html

事業概要：地域におけるデジタル人材活躍×DX推進事業

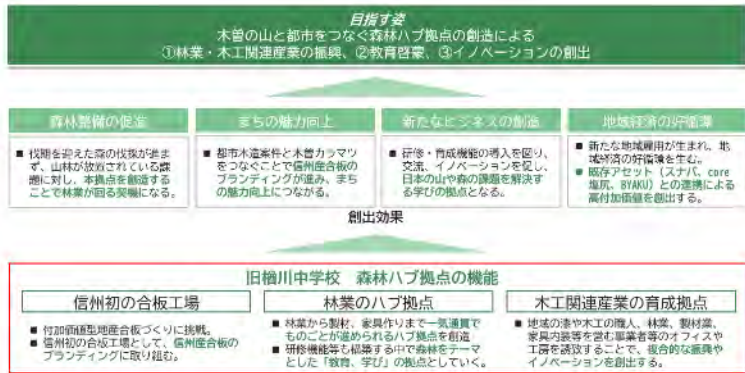
旧制度（推進）

申請者	長野県塩尻市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	254,300千円 (35,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・地域課題の解決に資する研究・開発・実証・実装を官民協働で持続的に展開する仕組みの構築を図る ・地域DX領域の新たな社会機能の創出を図る ・デジタル分野への新たな就労を求める人材がデジタル人材として活躍する場の創出を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の地域DXへの都市部先進企業の参画促進や拠点施設をベースに展開する事業開発プロセスのコーディネート・サポート、地域DXに必要なデジタル人材の育成・確保を通して、地域課題の解決や地域住民の利便性向上に資する新たなデジタルサービスやアプリケーションの研究・開発・実証・実装を官民協働で持続的に展開する仕組みを構築し、地域DX領域の新たな社会機能の創出を図るとともに、デジタル分野への就労を求める人材がデジタル人材として活躍する場の創出を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○課題解決に必要な先進的なテクノロジーやソリューションを有する企業の参画促進 ・セミナー及びイベント開催費 700千円 ・アセット集積活動費 2,000千円 ○地域課題を解決する事業開発プロセス推進のコーディネート及びサポートの実施 ・地域DXコーディネーター 6,000千円 ・DXサポートスタッフ 12,600千円 ・プロジェクト推進・総括支援 5,800千円 ○地域DXで必要となるデジタル人材の育成・確保 ・デジタル人材コーディネーター兼DXサポートスタッフ 4,200千円 ○プロモーション、各種諸経費 ・事業活動諸経費 4,200千円		
KPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①交通DX分野で社会実装したサービス数（+4件） ②事業開発プロセスに参画した企業数（+30者） ③交通DX分野での実証実験数（+25件） ④自営型テレワーク事業からキャリアアップし事業開発プロセスにおいて就労した地域デジタル人材数（+225人）		
URL		※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shiojiri.lg.jp//so-shiki/7/37656.html



事業概要：山と都市をつなぐ森林ハブ拠点整備事業

継続

申請者	長野県塩尻市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	881,574千円 (321,574千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・廃校となった旧檜川中学校の校舎を活用し、木曽の森林資源と都市をつなげる「森林ハブ拠点」の整備を進める。具体的には、体育館を再整備し、木曽・奈良井地域のカラマツを桂剥きして単板を製造し、付加価値型地産合板の企画・製造を行う合板工場を設立する。これにより、持続可能な林業の発展と地域経済の強化を図る。また、教室等を活用し、林業や木工に関わる企業の交流やイノベーションを促進する施設を整備する。信州をはじめとした、山や森の課題を解決に資する取組みを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 廃校となった旧檜川中学校を再整備し、合板工場と森林をテーマとしたハブ拠点を整備する。 体育館を活用した合板工場では、木曽・奈良井産カラマツ材を用いた高付加価値合板を製造し、地域林業の活性化と雇用創出を図る。校舎棟には事業者交流、研修、カフェ、宿泊、貸し工房機能を備えた森林ハブ拠点を整備し、産業連携と持続可能な地域づくりを推進するとともに、信州をはじめとした、山や森の課題解決に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○建築物本体工事 201,729千円 ・工事監理委託 32,109千円 ・建築工事 169,620千円 ○建築物と不可分な設備工事 101,475千円 ・電気設備工事 29,183千円 ・設備工事 72,292千円 ○その他設備整備 18,370千円						
主なKPI	①木材活用料 (+1,800m³) ②施設延べ利用者数 (+12,000人) ③貸し工房の貸室数 (+11室) ④新たに生まれた雇用者数 (+28人) ⑤新たに生まれた事業の数 (+13事業)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/7/37656.html

事業概要：デジタル人材育成・就労支援事業

継続

申請者	長野県佐久市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	147,700千円 (31,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域課題の解決を牽引するデジタル人材の育成・確保 ・女性の社会進出と経済的自立といったジェンダーギャップの解消 ・時代のニーズに合わせた多様な働き方の創出 ・シティプロモーションやシビックプライドの醸成による移住定住の促進						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子育てや介護等の理由で無職または非正規雇用の女性を主な対象に、デジタルスキル習得から就労までをワンストップで支援し、女性の経済的自立と多様な働き方の実現を目指す。デジタル人材育成と就労支援の組み合わせにより、従来のマッチング支援だけでは就労に繋がらなかった女性の活躍を促進するとともに、地元企業での雇用や業務切り出しにより、地域の人手不足に対応し、地域で育った人材が、地域で活躍するという官民連携による好循環の実現を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタル人材の育成講座及び就労支援のプロジェクト管理・運営 ・プロジェクト全般運営（委託料）16,600千円 ○WEBやチラシ等の媒体を活用した広報・情報発信 ・デザイン・構成検討、コンテンツ作成、Webサイト運用費用、パンフレット作成等（委託料）2,200千円 ○リスキリングのための研修の実施 ・リスキリング（研修）（委託料）12,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①女性デジタル人材の就業者数（+220人） ②転入超過数（+2,160人） ③満足度・重要度及び幸福感（+2.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://cosmosta.jp/

事業概要：企業DX推進事業

旧制度（推進）

申請者	長野県佐久市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,000千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	出生産年齢人口の減少を背景に、DXの普及浸透やデジタル技術の実装支援、社内のデジタル人材育成及び地域のデジタル人材の活用・採用に対する支援を行うことで、安心して働ける「しごと」の創出及び雇用（人材）を確保する デジタル技術を活用した変革により、業務効率化による生産性の向上や、地域産業の変革に対する支援を行い、産業や生活の質を大きく向上させ、活力あるまちづくりを目指す		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 専門家によるセミナーの開催やヒアリング等を通じ、経営層の意識改革や各社の課題を可視化し、最適なデジタル技術の導入を伴走支援するとともに、導入後の活用を担う人材の育成・採用までを支援することで、一過性に終わらない持続的なデジタル変革を実現する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○プロジェクト全般運営費用（委託料）20,000千円 ・運営 年度計画立案、全体マネジメント、モニタリング、進捗管理 全般に係る経費 6,000千円 ・認識共有・機運醸成 デジタル化等に関する基本的な知見習得、研修やワークショップの開催経費 3,000千円 ・実装支援 社内のデジタル化等推進体制構築支援、コンサルティング、システム、ツールの導入支援に係る経費 7,000千円 ・人材育成・活用 地元企業のニーズに応じた人材育成研修の開催、地域のデジタル人材の活用支援に係る経費 4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+135人） ②支援事業を通じた参加企業の労働生産性（+15%） ③デジタルシステム・ツール導入件数（+45件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (効果検証) https://www.city.saku.nagano.jp/shisei/seisaku_shisaku/tihosousei/mahishi_koukakensyou.html

事業概要：東御市シティプロモーション強化事業

旧制度（推進）

申請者	長野県東御市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	48,000千円 (12,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・デジタルプレスリリースやWeb広告などネット上での情報発信を強化することで、認知度の向上を図る。 ・首都圏でのPR事業や東御市公式ファンクラブ会員向けのツアーの実施などにより、関係人口の拡大を図る。 ・若い世代を含め市民が動画制作技術を学ぶ市民クリエイター塾を開催することで、シビックプライドの醸成を図る。 ・首都圏をターゲットに移住相談と併せて就業支援を実施することで、移住定住を促進する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係人口拡大のためのウェルネスツーリズムを活用したプログラムや、市民が動画制作を学ぶクリエイター塾、ファンクラブ制度のPRおよびツアーの実施、デジタルによるプレスリリース、首都圏での移住相談会、移住者就業支援を実施する。	東御市を知らない これまで東御市の情報がリーチしていなかった層をターゲット（一般人・メディア）にした新たな施策 東御市を知っている 東御市のことを少しでも知っている層がさらに東御市に愛着を持つことができる施策 東御市に関わっている 東御市に住んでいる 最終目標	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○シティプロモーション情報発信事業 9,206千円 ・ウェルネスツーリズムを活用した体験型プログラム提供事業 ・シビックプライド醸成のための市民クリエイター塾の開催 ・各種イベント・行事の効果的な宣伝活動 ・東御市公式ファンクラブ事業（ツアーやPR） 等 ○移住者就業支援・移住相談会・交流会事業 2,794千円 ・移住と就業をセットで支援、首都圏での働き世代をターゲットにし移住相談会の開催、地元住民との交流会の実施		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのU I J ターン数（+11人） ②人口の社会増減数（+161人） ③ふるさと納税寄附件数（+8,865件） ④認知度ランキング（長野県内19市）（▲3位）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tomi.nagano.jp/category/tihouseisei/169318.html

事業概要：東御市宿泊交流拠点施設整備事業

継続

申請者	長野県東御市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,099,991千円 (570,541千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	東御市には、多彩で魅力ある観光資源が存在しているが、観光客の当市内での観光消費は伸び悩んでいる。その背景として、当市内の宿泊施設の不足、不十分な観光地域づくり体制、体験型・滞在型メニューの不足、インバウンドへの不十分な対応、当市の観光地としての知名度の不足等の課題がある。こうした課題が相互に絡み合うことで、地域内における観光消費の増大や波及効果の拡大が実現しにくい。この状況を打破するため、観光客の「認知」から「滞在」「体験」「周遊」「消費」へと至る一連の導線を再構築し、地域資源を最大限に活かした戦略的かつ持続可能な観光振興施策を設計・実施する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光消費の増大及び域内循環を促進するため、本事業で整備する宿泊交流拠点施設等を起点とした体験型・滞在型メニューやインバウンドへの対応の充実等により、東御市ならではの魅力を滞在中に深く体感できる仕組みを構築する。さらに、里山に囲まれた、道の駅にも近い地域に宿泊交流拠点施設を新たに整備する。脱炭素にも配慮したこの施設には、宿泊機能に加え、地域食材を活かした飲食機能、観光情報の発信機能等も持たせる。これらの施策により、観光客の滞在時間や消費額の増加を図り、観光を起点とした地域経済の活性化を目指す。					 イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・プロモーション 16,780千円 ・宿泊交流施設の機能強化 15,202千円 等 ○拠点整備事業 ・設計・監理 166,050千円 ・用地造成 235,905千円 等 ※効率的・持続可能な事業の実現のため、設計・建設・運営を民間事業者が一体的に担うDBO方式を活用した事業スキームで推進する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+27.6億円） ②主要観光施設入込客数（+40,900人） ③延べ宿泊者数（+60,600人） ④ツーリズム参加者数（+2,300人） ⑤宿泊交流拠点施設の年間宿泊者数(+14,840人） ⑥宿泊交流拠点施設のSNSの登録者数(+11,182人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tomi.nagano.jp/category/tihousei/169318.html

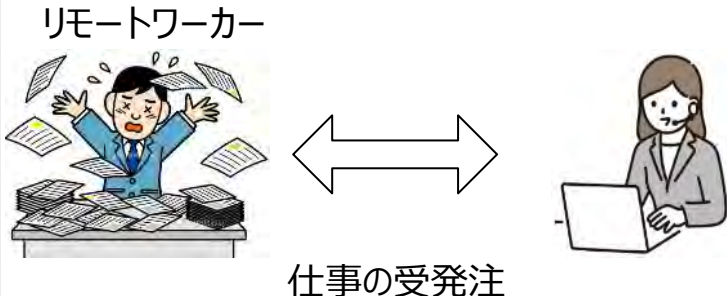
事業概要：東御市古民家レストラン整備事業

継続

申請者	長野県東御市						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	356,635千円 (86,450千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	東御市でも、古民家などの空家が増加傾向であり、なかでも適切な管理が行われていないまま放置されている空き家が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。古民家には改築の上再利用出来るものも多く、文化的価値もあり、商業利用の可能性もあるものの、商業利用での再利用は限定的である。その理由として、古民家の再生後の利用に関するアイデアが関係者から出てくるものの、土地条件の制約から再利用後の収支が見通せないため実現しない場合も多い。このため、本事業では、古民家を移設・改修し、レストランと地域物産の売店として再生し、その運営状況を広く共有することで、移築・再生する古民家のモデルとし、移設を伴う古民家再生の流れを作る。古民家の再生を通じ、歴史と文化を後世に残しつつ共生をしていくことで、災害に強く、住みやすいまちづくりを実現するとともに、観光客にとっても「地域の歴史と文化が感じられる、また来たいまち」となるような、美しいまちづくりを行い、ここにしかない価値を磨き上げ、持続可能なまちを作る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、歴史的かつ文化的な古民家（解体保存されていた古材）を移設、レストランと地元食材などの特産品の売店として改修・再利用する。レストランのメニューは季節の地元食材で構成し、郷土料理や発酵食、ワインとのペアリングなども展開する。また、地場産業の売店では、浅間山を代表する山々からの豊かな恵みで育てた野菜や果物はもちろん、ワインやチーズ、鶏肉、牛肉、さらには羊肉の販売を行う。この取り組みを通じ、古民家の移築・再利用のモデルを示す。						 イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・設計・監理 28,950千円 ・用地造成 22,500千円 等 ※効率的・持続可能な事業の実現のため、設計・建設・運営を民間事業者が一体的に担うDBO方式を活用した事業スキームで推進する。							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①古民家レストランの延べ利用者数（+15,500人） ②古民家レストランの売上額（+48,500万円） ③古民家レストランの利益額（+210万円） ④古民家レストランの地域食材、商材の使用率（+70%） ⑤古民家レストランの雇用者数（+6人） ⑥古民家レストランのSNSのアクセス数(+10,100件)						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tomi.nagano.jp/category/tihousei/169318.html

事業概要：リモートワーカーを活用した労働力不足解消支援事業

旧制度（推進）

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,187千円 (14,212千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・育児や介護中等、時間的制約のある方の就労を支援（リモートワーカーとして育成） ・リモートワーカーと地域事業者をマッチングさせ、地域の労働力不足問題を解決 ・都心部企業（主に情報通信業）を誘致し、リモートテレワーカーの受注拡大、若者等の新たな就労先を確保		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○リモートワーカーの確保育成・企業とのビジネスマッチング支援 ○サテライトオフィス誘致業務		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○リモートワーカーの確保育成・企業とのビジネスマッチング支援 ・事務局運営費 6,292千円 ・各種セミナー経費 1,964千円 ・グループワーク交流会 220千円 ・コワーキングスペースの運営 660千円 ・リモートワーク発注コーディネート 770千円 ・ビジネスマッチング 385千円 ・リモートワーカー活用事業補助金 500千円 ○サテライトオフィス誘致業務 ・マッチングイベント出展料など 1,870千円 ・東京での企業対応代行 440千円 ・個別企業紹介、誘致支援ミーティング料 1,430千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+110人） ②スキルアップセミナー参加者数（+80人） ③リモートワーカー活用イベント参加事業者数（+15社） ④サテライトオフィス誘致件数（+3件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/so-shiki/9/ （効果検証） https://www.city.azumino.nagano.jp/so-shiki/6/86722.html

事業概要：『安曇野で働く』を通じた経営支援、ブランド構築、起業・就業支援事業

継続

申請者	長野県安曇野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,214千円 (11,078千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・WebやSNS等を活用したマーケティング・ブランディングの支援等により、経験やスキルを活かした起業等を支援 ・市内企業の取組を学生等に発信する機会を創出し、企業の人材確保と移住者等の就業面のサポート 本事業によって本市へ移住・起業する人や新しい発想で生まれた個店が増えることで街の賑わい創出につながり、魅力的な個店ができることで本市への更なる移住者増が期待でき、起業と移住の両輪で好循環を生んでいく。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 (1)Webマーケティング支援 適切な情報発信媒体の選択、効果的な情報発信等の支援 (2)『起業×移住』 都市圏でのリアル開催セミナーやオンラインセミナーの実施、起業・就業までの伴走支援、ホームページの作成を実施 (3) オープンファクトリー事業 バスで市内企業を訪問し、企業の取組を学生等に発信する機会を創出						
	【R8年度事業 経費内訳】 (1)Webマーケティング支援 ・Webマーケティング支援（委託料）：2,640千円 (2)『起業×移住』 ・「起業×移住」支援（委託料）：3,608千円 (3) オープンファクトリー事業 ・バスによる企業訪問支援（委託料）：4,830千円						
主なKPI	①社会動態（社会増）（+759人） ②Webマーケティング・ブランディング支援事業による企業支援回数（+180回） ③オープンファクトリー事業参加者数（+240人） ④事業を通じた起業家数（+9者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/9/ （効果検証） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/6/86722.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	長野県安曇野市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,090,100千円 (66,200千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	宿泊、レストラン、物販、交流等の機能をもった複合施設を新設し、滞在型観光や体験型観光への転換を通して観光消費額の増加を図るとともに、地場産品の価値向上や地域内調達による雇用の創出をもたらす拠点とする。 歴史的文化財を改装し、高付加価値旅行者やインバウンドへの働きかけを強めることで、新たな客層の開拓と持続可能な観光地の形成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本陣等々力家を、歴史的価値や日本の本物の文化を身近に感じる高付加価値層向けの「宿泊エリア」、自然・伝統・文化を取り入れ地産食材を活用した「レストラン」、地元事業者と連携しマルシェやイベントを開催する「文化・交流エリア」を備えた複合施設に整備する。 事業の実施は、本市が主体となり、文化財保存・宿泊施設運営・観光推進等に実績を有する民間事業者と連携しながら、地域振興と持続可能な運営モデルの確立を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・宿泊施設整備費 66,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+50億円） ②観光客の滞在日数（平均宿泊日数）（+2.6日） ③延べ宿泊者数（+3,942人） ④年間利用者数（+7,640人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/9/ （効果検証） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/6/86722.html

事業概要：小海町を「まち」として営み存続させる こうみワインプロジェクト事業

継続

申請者	長野県小海町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	91,083千円 (49,239千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少等の起因による町の存続が危ぶまれるなかワイン用ぶどうという地域資源を磨き上げ、複数の産業が結びついたしごとを創出し、地域経済の循環を構築する。取組により、交流人口の増加、人口減少の緩和を図り、活力のある持続可能な町づくりに帰着するもの。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○事業展開戦略 ビジョン等の方向性を考え、事業戦略を練り、将来像を明確にする。 ○資源形成の取組 ぶどうの生育等の調査を行い、高品質及び必要収穫量の確保に取り組む。 ○商品形成の取組 ブランディング、マーケティング戦略を構築し商品価値を高める。 ○担い手確保取組 事業展開・持続可能性を高めるため、担い手確保の取り組みを行う。 ○商品製造への取組 ワイナリーの建設準備を行い複数の産業が結び付いた取り組みを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○事業展開戦略構築 1,650千円 ・事業展開戦略確立推進計画作成委託料 ○資源形成の取組 6,226千円 ・圃場調査他委託料 ○商品形成の取組 11,737千円 ・マーケティング統括戦略設計、SNS、Youtube、web企画実行他委託料 ○担い手確保取組 2,013千円 ・生産者・加工者誘致施策企画、イベント出展等他委託料 ○商品製造への取組 3,938千円 ・ワイナリー建設ランドデザイン作成他委託料 ○事業推進のための事業設備費及び備品費 23,675千円 ・資源枯死対策、品質向上、産地拡大、販路獲得などの取り組み						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物平均出荷量（+175ケース） ②総農家数（+12世帯） ③販路獲得数（+13件） ④商品原料となるぶどうの収穫量（+3,300kg） ⑤ぶどうの新規生産・加工者数（+4人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.koumi-town.jp/office2/archives/political-info/nougyou/post-1600.html

事業概要：コンパクトタウンの強化 創造空間 こうみ 多生～Make P Progress事業

新規

申請者	長野県小海町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,202,400千円 (866,080千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	小海町は J R 小海駅を中心に拠点的機能が備わった「コンパクト・タウン」として形成されている。この都市構造を強みとして活用し、小海駅周辺に移住定住・小海町に留まりたい、交流や賑わいを生み出す魅力的な空間を創出することで外から人を呼び込み、また内から外への流出を防ぐ。交流人口の増加、移住定住、転出抑制等により人口を確保する。これにより地域内消費の拡大、経済波及効果拡大が図られ、将来においても地域を存続させ、活力あるまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 都市機能が集積する小海駅周辺において、利便性の高い新たな居住エリアの整備と、町民の憩いの場となる公園整備を一体的に実施するものであり、既存の未利用地や低未利用地を再編し、「魅力ある多様な空間」を創出することで、若年層・子育て世帯などの流入・定着を図るとともに交流人口の増加を促進するものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新たな創造空間回遊のための戦略構築（委託料）7,700千円 ・新たな創造空間に人を呼び込む各種取組（委託料）9,130千円 ・ともに伴走する担い手確保の取組（委託料）1,100千円 ○拠点整備事業 ・新たな住まいの場拠点整備 529,150千円 ・人を呼び込む公園拠点整備144,100千円 ○インフラ整備事業 ・人を呼び込む公園整備123,200千円 ・新たな創造空間の価値を高める道路整備 51,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口数（▲570人） ②交流人口数（+30,958人） ③町民定住意向割合（+17.4%） ④コミュニティスペース利用者数（+8,410人） ⑤土村公園利用者数（+7,310人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：南牧村農畜産物直売所増改築事業

新規

申請者	長野県南牧村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	181,000千円 (181,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・農畜産物のブランド化の推進や加工販売、安心・安全な農畜産物づくりへの取り組みなど、高付加価値化を推進する。 ・効果的な情報発信により、基幹産業である農畜産業をより広く発信し、販路拡大と地域経済の拡大を目指す。 ・稼ぐむらづくりに寄与することで村全体のさらなる活性化を図り、農家の意欲向上や新たな雇用の創出につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 村内の農畜産物の主要販売拠点である農畜産物直売所では、売場の狭隘化や搬入動線の未整備により出品量や品目が制限され、生産者の作業効率や来場者の利便性の面で課題が生じている。本事業は、直売所の増改築により売場を拡張するとともに、農家が野菜を持ち込むための搬入口及び作業スペースを新たに確保し、あわせて入口スロープを設置するものである。これにより出品環境の改善と販売機能の強化を図り、生産者の負担軽減、出品機会の拡大、来場者の利便性向上を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 南牧村農畜産物直売所増改築 176,435千円 ・備品整備 直売所増改築に伴う備品整備 4,565千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①南牧村農畜産物直売所の付加価値額（+2,000万円） ②南牧村農畜産物直売所の売上高（+3,400万円） ③南牧村農畜産物直売所の取扱商品目数（+24点） ④南牧村農畜産物直売所出荷組合員数（+21人） ⑤農業所得の直近3年平均額（+1.2億円） ⑥観光客入込数（+48千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：森林資源を活かした循環型地域産業エコシステム構築事業

新規

申請者	長野県南相木村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	26,200千円 (11,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・未利用材の有効活用と魅力のとりまとめ、情報発信、関係企業との取り組みの強化を通じて、一斉に伐期を迎えた村産カラマツを中心とする森林資源を、持続的かつ循環型で半永久的に活用し続ける森林資源の循環型のエコシステムを確立する。 ・地域の基幹資源である森林資源を活用し、林業・木材関連産業の付加価値向上と販路開拓を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 苗木の生産から、森林所有者と連携した適切な森林管理、安定した材の出荷、材の高付加価値化（建材利用等）、未利用材の効果的な活用（薪、加工品等）、エネルギー利用（薪ストーブ）までを域内で行う循環型エコシステムを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 事業①「森林資源の有効活用事業」 ・地域資源の加工品の拡充（セガサミー等との意見交換を踏まえて、マウスパッドやマウスリフトレス、積み木・木製パズル、ラック、表札等から3品程度 委託費2,000千円 ・薪の販売促進として、別荘地等へのPRチラシのポスティング費（500千円） 事業②「セガサミーの森強化事業」 ・セガサミーの森をテーマにした、加工品等を活用したイベント等の開催費（1,000千円） ・セガサミー交流イベントにおいて、森林資源循環型エコシステム（仮称）PR、意見聴取を継続実施する 委託費1,000千円（特設ブース設置費700千円、意見収集、とりまとめ費用300千円） 事業③「南相木の森林資源循環型エコシステム（仮称）PR事業」 前年度に開設した特設WEBサイトに、1年目の取材記録を追加制作するとともに、建材としての利用価値についても追加制作する 委託費1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①林業・木材関連産業における付加価値創出額（+11,697千円） ②薪の年間販売額（+8,630千円） ③森林資源関連加工品の販売額（+1,000千円） ④苗木の販売額（+6,300千円） ⑤地域産材の搬出量（+7,500m ³ ） ⑥「南相木応援団」の登録者数（+1,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.minamiaiki.jp/gyousei.htm#midasi2 (令和8年7月公表予定)

事業概要：伍賀地区地域活性化拠点整備事業

新規

申請者	長野県御代田町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,030千円 (96,030千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少・高齢化が進む御代田町伍賀地区に、地域資源の強み（高原野菜生産、自然・観光資源、地域コミュニティの潜在力）を活かした地域活性化拠点を整備し、地域住民や若年層・移住者層、観光客等、すべてのコミュニティが交流や移住相談、移住体験、農業体験のできる施設を建設する。関係人口や交流人口を巻き込み、人口減少・高齢化という「町内二極化」の構造的課題の解決と移住定住の促進や地域資源の活用により、地域の活力向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 御代田町伍賀地区の人口減少・高齢化対策として、新たに地域活性化拠点を整備する。地域住民・若年層・移住者・観光客など多様な人々が交流できる場を提供し、移住相談・移住体験・農業体験を実施する。関係人口・交流人口を巻き込み、町内の二極化の課題を解消するとともに、移住定住を促進し、観光資源や農産物の地域資源を活用して地域の活力を高めることを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・施設整備 96,030千円（木造平屋182㎡）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口や交流人口を含めた地域人口の増加数（+3,500人） ②施設の利用者数（+1,000人） ③施設のイベント開催回数（+14回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.miyota.nagano.jp/index2.html

事業概要：官民連携による歴史文化の振興及び産業活性化事業

新規

申請者	長野県下諏訪町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	20,529千円 (6,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	国登録有形文化財である「旧矢崎商店」を①観光の滞在拠点、②町内の回遊の起点、③移住・創業の入口として活用し、これらをテーマにしたプロジェクトや企画を実行する場として運用していく。あわせて「一過性の観光」ではなく、滞在や関係人口の創出を通じて移住定住や創業・開業へつながる「移住定住につながる観光」のあり方を構築し、普及していくことも目指す。これらの取り組みを通して、地域文化と観光産業の担い手を増加させ、下諏訪町にしかない豊かな地域資源を生かした「下諏訪らしい観光」の振興を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「観光産業の担い手」と「地域文化の担い手」を増加させることを目的に、行政・民間・教育機関等多様な関係団体と連携し、以下4つの事業に取り組む。旧矢崎商店を中核拠点として、観光、移住・創業、文化継承を一体で推進することで、町の主要産業である観光関連産業の付加価値向上と担い手確保を同時に進め、強い地域経済の実現に寄与する。①旧矢崎商店運営事業、②移住定住促進事業、③創業・開業促進事業、④文化継承事業						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ①旧矢崎商店ホームページ制作・運営費（1,000千円） 町歴史的建造物「旧矢崎商店」運営開始に向けた専用ホームページの構築。 ②歴史文化を活用した地域賑わい事業委託費（4,500千円） 旧矢崎商店の官民連携による運営開始に向けた準備、町の移住促進・文化発信事業の委託費。 ③文化財調査研究委託費（500千円） 町内の貴重な史跡、建造物、伝統文化の継承及び保存活用の向けた教育機関への調査研究委託費。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①旧矢崎商店訪問をきっかけとしたUIターン数（+18人） ②旧矢崎商店来場者数（+550人） ③歴史文化イベント・体験プログラム参加人数（+600人） ④宿・店舗等の開業件数（+22件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1000100000070/index.html

事業概要：下諏訪町子育て・交流テラス「わっこ」整備事業

新規

申請者	長野県下諏訪町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	146,685千円 (146,685千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・子育てする保護者が社会の中で孤立することを防ぎ、地域が一体となって支えあい、協力できる環境整備を行うことで、子育て世代に選ばれ、定着するまちづくりを推進する。 ・新規開店する商業施設に行政施設が設置されることで商業施設に付加価値を与え、人を呼び込む手段となる。施設利用者が購買行動を起こすことによる町内の経済活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間事業者が新設する店舗別棟に行政施設として、子育て支援及び多世代交流が図られ、地域経済の活性化にもつながる拠点を新たに整備する。子育て世代が安心して安全に過ごすことができるあそび場、集いの場であるとともに、時間帯を区切り小中高生が気軽に集える居場所としての機能を設ける。また商業施設併設の利点を生かし、施設利用をきっかけに町内での買い物や外食などの消費行動につながるよう、世代を超えた利用者のための講座やイベントを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物整備 139,865千円 子育て講座スペース、相談・会議室等を整備 ・備品整備 6,820千円 施設の運営に必要な備品を購入						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①施設経由販売増加額（+67,182千円） ②人口の社会増減（+60人） ③世帯の増減数（+20世帯） ④施設利用者数（+16,700人） ⑤施設利用者満足度（+100%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1000100000070/index.html

事業概要：SDG s 未来都市～つなぐ えがく みのわの未来～

新規

申請者	長野県箕輪町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,552千円 (9,312千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本町に根付いた農業・製造業といった地場産業の担い手不足や将来世代への継承という課題に対応し、地域経済の持続性を高めることを目的する。 ・農業拠点のブランディングやこどもまんなかの取組を通じて、地場産業の魅力や役割を可視化し、将来世代が地域産業に関わるきっかけを創出するとともに、脱炭素化や観光分野の環境対策を一体的に進めることで、地場産業を取り巻く環境の改善と価値向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足や多文化共生、環境負荷の課題に対し、製造業・農業の人材育成と雇用創出、外国人住民への日本語学習や多言語防災支援、脱炭素や環境配慮型の産業・観光施策を一体的に進め、経済・社会・環境が好循環する持続可能な地域づくりを目指すもの					 誰かが将来にわたり安心して生活できる「住みやすい町」を目指す	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 農産物ブランディング支援：1,162千円 こどもまんなかイベント事業：1,499千円 有機農業推進事業：260千円 ゼロカーボンシティみのわ推進事業：6,319千円 ほか						
主なKPI	①新規就農による付加価値創出額（+1,200万円） ②ゼロカーボン・環境配慮に具体的な取り組みを開始した事業者数（+6社） ③環境にやさしい農産物認証制度による認証数（+60件） ④17歳町民意識・生活実態調査における「就職時に箕輪町に戻りたい/残りたい」と回答した割合（+6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.minowa.lg.jp/sos_hiki/kikaku_shinko/gyomu/12/143.html

事業概要：みのわの地域魅力化戦略～「住みたい、住み続けたい」を育む道の駅拠点整備～

新規

申請者	長野県箕輪町						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	380,080千円 (125,750千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・農産物直売所における地場産品の売上拡大や、地産地消レストランにおける地域の農畜産物を使った料理の売上拡大、農産物加工所における地域の農産物を使った加工品やスイーツの売上拡大等により、農業従事者の所得上昇、地域の特産品（果樹、野菜、花卉等）の認知度向上や、販路拡大を目指す。 ・地域の子育て支援施設、遊び場機能を整備することで、子育て世代の定住を促進するとともに、地域の文化や農をはじめとする産業の魅力発信をすることで、シビックプライドの醸成と関係人口の増加を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「みのわテラス」の道の駅としての機能整備（情報案内スペース、ベビーコーナー、24時間使えるトイレ改修）を行うと同時に、芝生広場の拡張、屋内遊戯施設の整備といった「遊び場機能」の充実化、体験スペース、屋内休憩スペースの整備を行うことで、子育て環境の改善や関係人口の増加及び移住定住の促進を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・農産物加工所の増築工事 68,640千円 ・駐車場の拡張 22,936千円 ・屋内遊戯施設の実施設計 20,350千円 ・公式ホームページの改修 770千円 ・デザイン監修等 660千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物直売所の売上のうち産地直売品の売上金額（+3,600万円） ②関係人口（+1,550人） ③道の駅全体の施設利用者数（+9.0万人） ④施設全体の売上金額（+8,900万円）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：地域共生ステーション整備事業

新規

申請者	長野県箕輪町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,666千円 (3,666千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・障がい者等活動拠点を駅前通りの空き店舗に移転し、誰もが利用できる施設に転換することで、障がい者、こども、住民等多様な世代が集まり、誰もが居場所と役割を持ってつながり、活躍できる地域を実現し、産業の発展支援につなげる。 ・駅前通りに人が集う場所ができることにより、中心市街地の賑わいづくりに寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在の障がい者等活動拠点を駅前通りの空き店舗に移転し、誰もが利用できる施設に転換する。また、福祉全般の相談機能を集約し、近隣のこどもの居場所とともに、障がい者、こども、住民等多様な世代が集まり、誰もが居場所と役割を持ってつながり、活躍できる地域を実現する。					居場所・地域の つながりの場 空き店舗の 有効活用 ・誰もが活躍 できる地域づくり ・中心市街地の 賑わいづくり	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・商店街の空き店舗を活用し、地域共生ステーションを整備 ・現障がい者等活動拠点からの備品等移転、設備撤去 新施設整備（委託料） 3,666千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域通貨（みのちゃんカード）域内消費額（+4,150万円） ②地域共生ステーション利用者数（+230人） ③利用者の社会参加移行人数（+10人） ④イベント実施回数（+20回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.minowa.lg.jp/sos/hiki/kikaku_shinko/gyomu/12/144.html

事業概要：地域資源を活用した持続可能な観光×産業創出「いいじま未来共生イノベーション」事業

新規

申請者	長野県飯島町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	25,000千円 (25,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・豊かな森林資源と美しい自然景観を活かした観光産業を核とし、地域の「稼ぐ力」を飛躍的に向上させることを目指す。 ・「地域商社」設立による地域経済の活性化を目指す。 ・未利用資源の利用による産業、魅力発信、関係人口アップを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域資源を最大限に活用し、新たな価値を創造するための「地域商社」を設立し、以下の機能を核として運営する。 （1）地域産品の開発・販路開拓：森林資源や農産物を活用した高付加価値な商品の企画・開発、および国内外への販路開拓（2）観光コンテンツの造成・誘客：自然や文化を活かした体験型観光プログラム（森林セラピー、エコツアー、農業体験など）を開発し、観光客や関係人口向けの誘客を促進（3）関係人口との連携強化：「ふるさと住民登録制度」を積極的に活用し、登録者からのアイデアを商品開発やサービス提供に反映させます。副業やボランティアによる地域活動への参画を促し、地域課題解決と新たなビジネス創出へと繋げる。（4）SDGsへの貢献：森林資源の持続可能な管理・利用、地域内での経済循環の促進、多様な働き手の確保、環境配慮型事業の推進など、事業活動全体を通じてSDGs達成に貢献する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 （1）「地域商社」の設立と地域資源の洗い出し業務（委託料）18,000千円 ・体制整備（現状分析・人材）・地域資源現地調査 （2）「地域商社」基本構想の策定業務（委託料）7,000千円 ・長期的ビジョン・事業実施に向けたプロセス						
主なKPI	①観光消費額（+417千円） ②特産品開発支援件（+1件） ③間伐実施面積（+11.92ha） ④滞在型にぎわい創出施設利用者数（+121人） ⑤ふるさと納税件数（+400件） ⑥Uターン者数（+11人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：リニアで繋がる地域と都市部のヒト・コト・モノ交流事業

旧制度（推進）

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	35,200千円 (11,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	新規販路開拓による農業就業人口の増加 新規メニュー開発による地元PR効果からくる誘客の促進 都市間交流コミュニティ創出によるヒトの繋がりが生み出す新しい関係性の構築 農業・都市間交流分野による関係人口増加による移住定住者の獲得		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 都市部トップシェフを招き、町の多品目果樹を活かしたメニューを開発することで町をPRし、観光サイトの強化で誘客と収益化を図り、農業施策に還元する。 また、「マツカワたがやすかいぎ」を発展させ、町と品川宿に暮らす人々を対象に体験型ワークショップや農業体験を通じたコミュニティを形成し、継続的な関与と担い手確保につなげる。 【R8年度事業 経費内訳】 ○地元農産物を活用した都市部のトップシェフとの連携事業 (委託料、広告経費、パッケージ開発経費等) 6,600千円 ○リニア駅で繋がる都市間交流事業 (委託料) 4,400千円		(商品の開発/販売にとどまらない観光地としてのブランド化) 「都市と地方の関係」
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産就労者数 (+120人) ②社会増減数 (+6人) ③ふるさと納税寄付件数 (+1,500件) ④地域の人口数 (▲589人)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

事業概要：関係人口コミュニティが展開するタウンプロジェクト事業

新規

申請者	長野県松川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	12,000千円 (4,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・当町の地場産業である果樹農業を中心に、町内の商業・観光・体験サービス等の関連産業を一体として活性化し、地場産業の付加価値向上と販路(顧客接点)拡大を通じて地域経済の維持・拡大を図る。 ・人口減少等で生じる担い手不足や好意層の単発化を解消するため、通年プログラムと「登録・役割・継続発信」の仕組みで、来訪者を継続参画へ転換する。 ・運営負担を分散し、担い手を確保する。通年体験と回遊設計で再訪・参加を増やし、若者・出身者の関与を拡大させることで、関係人口を蓄積し、地域産業の持続性を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・町外者を中心とする関係人口コミュニティ「南信州クリエイティブコミュニティ」を中核に町全域で通年度のイベント及び体験プログラムを実施するとともに、町内イベント等への初参加者が継続的な参画者へ移行できるようなしくみを整備し、「一度きりの来訪」を「継続的な関わり」へ転換することで人口減少における担い手不足の補完と地域産業の持続性向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・南信州クリエイティブコミュニティ事業 3つコミュニティの運営、コミュニティが実施する事業実施経費、全体企画運営（委託料）4,000千円						
主なKPI	①関係人口の人数（+1,050人） ②町民が実施するイベント、行事への関係人口の参加人数（+15人） ③果樹研修生参加人数（+9人） ④町民と関係人口が独自に実施するイベント・行事の実施件数（+3件） ⑤南信州クリエイティブコミュニティが実施する町のPRやイベントの発信リーチ数（+4,000件） ⑥NFT販売額（+940万円）					URL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/choseijoho/kihonkoso_keikaku/chihososei/11709.html
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

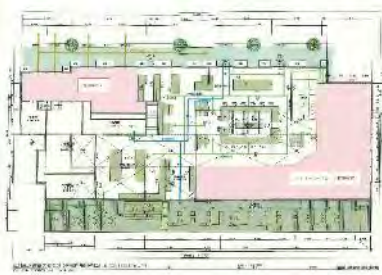
事業概要：松川町交流・学び・挑戦が循環する地域拠点形成事業

新規

申請者	長野県松川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	8,250千円 (3,080千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・中心市街地に形成する地域拠点を核として、生産者、事業者、クリエイター、消費者が交わる場を創出し、商品開発や表現力の向上、小規模な販売・実証の機会を提供することで、地場産業の付加価値向上と販路開拓を支援する。 ・拠点を核に活動が集約・連動することで、点在する取り組みを面へ拡大させることができる。また、経済の活性化が暮らしの質向上と参画意欲に結び付き、官民共創型の運営体制の定着、新たな価値創出を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・中心市街地に空き家店舗等を活用した地域共創拠点を整備し、交流・学び・創作・小商いなど多様な活動が日常的に生まれる場をつくることで、点在する人材や取組を集約し、地域の関係性を再構築する。あわせて、経済活動と居場所・文化交流等の生活関連活動を一体展開し、経済活性化が暮らしの質向上と地域参画につながる循環を形成する。さらに町外人材の段階的関与を促して関係人口の定着と新たな価値創出を図る。						
	----- 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・あらい商店街共創拠点「KAICO」を核とした地域循環型まちづくり推進事業 事業実施経費、企画運営 (委託料) 3,080千円						
主なKPI	①人口の社会増減数（転入者-転出者）（+6人） ②年間来訪者数（+300人） ③ワークショップ・イベント実施数（+15回） ④関係人口（継続的関与者）（+30人） ⑤SNSフォロワー増加（+150人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/choseijoho/kihonkoso_keikaku/chihosomei/11709.html

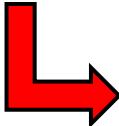
事業概要：上松町の賑わいを取りもどす観光拠点整備事業

新規

申請者	長野県上松町						初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	169,292千円 (169,292千円)	
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業				
目的・効果	・閉業した民間施設を活用し産地直売所、特産品等の開発・販売機能をもった「みなし道の駅」として整備し、魅力的な町内観光地や特産品の紹介を通して、かつての賑わいを取りもどすとともに町内事業者の所得向上を図り、観光消費額の増加など経済波及効果をもたらす拠点施設とする。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 かつての地域の賑わいの復興と多様な利用ニーズに沿った物販、直売、特産品の開発、観光案内などの機能を有した観光拠点施設として整備し、収益事業を展開することで観光消費額の向上と町内事業者への波及効果を促進する。						   		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体改築工事（改築本体、電気設備、機械設備、厨房施設） 18,700千円 ・既存トイレ移転工事（建築物本体、解体、処理） 141,000千円 ・デジタルサイネージ設備設置工事 3,300千円 ・DX促進設備工事（車両ナンバー検知システム） 6,292千円								
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①上松町観光消費額（+560,405千円） ②寝覚の床観光消費額（+553,123千円） ③寝覚の床観光利用者数（+108千人） ④テナント連携事業者数（+10者） ⑤特産品新規開発数（+7種類）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定	

事業概要：木祖村駅前観光拠点整備事業

新規

申請者	長野県木祖村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	57,519千円 (57,519千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	駅前に観光案内機能と交通結節機能を備えた観光拠点を整備し、来訪者が到着時に観光情報と公共交通情報を一体的に取得できる環境を構築することで、村内観光地や地域事業者への周遊を促進し、滞在時間の延伸と地域内消費の拡大を図る。また、多言語対応や情報発信機能の強化により、多様な来訪者の利便性向上と交流人口の増加を促進するとともに、公共交通利用促進と移動環境の改善を通じて、観光消費額増加や地域産業活性化など持続可能な地域経済の発展につなげることを目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 木祖村の玄関口であるJR藪原駅前に観光案内所と交通事業所（民間機能）を併設した観光・公共交通連携拠点を整備し、村内観光資源、体験型観光コンテンツ、宿泊施設、飲食店、特産品等の情報と公共交通情報を一体的に提供する体制を構築する。これにより、来訪者の円滑な二次交通利用を支援するとともに、村内観光地や特産品を「見る・知る」機会を創出し、地域内の周遊促進と滞在時間の延伸を図ることで、観光客数ならびに観光消費額の増加を通じた地域経済の活性化につなげる。					 現観光案内所  現交通事業所	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 48,136千円 ・外構工事 9,383千円					 駅前空き家跡地に集約 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①村内全観光地 年間観光消費額（+113,997千円） ②藪原宿・鳥居峠間 観光消費額（+793千円） ③村内全観光地 年間観光入込客数（+22,316人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：木の産業づくり事業

新規

申請者	長野県木曽町、長野県						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,855,023千円 (52,453千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・豊富な森林資源を有する本町の木材関連産業について、中間土場の整備により新たな内装材合板工場等への供給が可能とし、地域内で加工することにより付加価値を向上させる。 ・地域資源の地産地消により、住民の森林整備への関心を高め、地域経済の拡大を目指すとともに、中間土場を基軸とした林業の6次産業化による持続可能なまちづくりが期待できる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 木曽町全体面積の約90%が森林であり、その多くが伐期を迎えている。林業関連産業従事者も減少傾向であるため、新たな木の産業づくり事業として6次産業化を進めることにより、林業関連就業者の増加が見込まれるとともに、地域全体で地域内資源の循環利用及びサプライチェーンの構築を図る。また、地域内で製造された高付加価値商品の運送におけるコスト縮減のため、施設と主要幹線道路間の町道を整備する。						地域内資源の循環型利用	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物整備事業 管理棟新設ほか 19,181千円 ・設備、用地造成事業 舗装工事ほか 33,272千円 ○インフラ整備事業 ・森林整備事業 2,570千円 ・町道整備事業 1,800,000千円							
主なKPI	①新規雇用者数 (+13人) ②木材搬出量 (+2,000m³) ③大型車通行量 (+500台) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.town-kiso.com/chousei/shisaku/100395/102407/

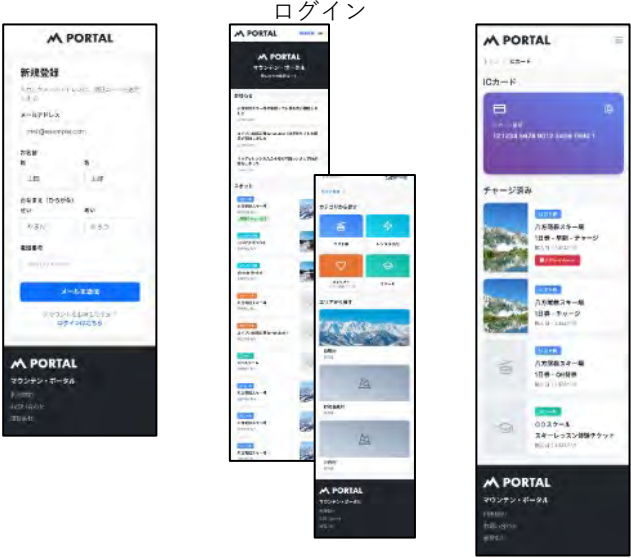
事業概要：未来へつなぐ農産物直売所を拠点とした地産地消推進事業

新規

申請者	長野県松川村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	107,000千円 (92,500千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅「寄って停まつかわ」に新たに農産物直売所を建設し、生産者の販路開拓や、地産地消の向上を目指す。 ・地域での農業生産者の高齢化や担い手不足に伴う、新たな拠点での生産意欲や担い手確保につなげる。 ・観光拠点でもある道の駅から、地場農産物の魅力と村の魅力を伝え、交流人口の促進を図る。 ・6次産業につながる加工品の開発を行い、新たな付加価値創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域農業生産者からのニーズより、農産物の品質確保や購入者のサービス向上が必要であるため、農産物直売所及び加工所を併設した農産物直売所を新設（増築）する。松本市及び白馬村を結ぶ観光拠点にも位置付けられる立地を活かし、通過地点ではない、滞在時間が延びるスペースや賑わいのある道の駅と連動した拠点整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・農産物直売所建築物本体工事 69,000千円 ・既存施設連携整備工事 7,000千円 ・既存施設改修工事 8,500千円 ・設計監理委託料 8,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物販売額の増加（+22,951千円） ②施設交流人口（+56,815人） ③生産者登録者数（+20人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

事業概要：DXによる地域観光業の持続可能性向上事業

旧制度（推進）

申請者	長野県白馬村ほか2自治体	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	142,000千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	観光業において、近年の環境変化への対応の遅れをDXにより克服、観光業を活性化し、住民が永続的に定住できる村になることを目指す マイポータル、リフト券の通年販売、ダイナミック・プライシング、地域間の相互送客などにより、国際競争力、地域観光業の持続可能性を向上させる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スキー場利用者がリフト券にチャージしている情報を確認できない課題を解決するためにチャージ券種、利用ステータスを表示できるようにする。DMOが「マイポータル」利用者のデータをCRMに使えるようにするダッシュボード機能追加する。リフト券のダイナミックプライシングを可能にする機能を追加。山岳リゾートDX協議会の運営、参画者追加		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ゲートシステムとのAPI連携の仕様調整、システム仕様策定、開発・実装、導入テスト、サービス運用に関する委託費用：15,000千円 ・ダイナミックプライシングの規格のスキー場との調整、ゲートシステムとの整合性確保・API連携の仕様調整、システム仕様策定、開発・実装、導入テスト、サービス運用に関する委託費用：30,000千円 ・山岳リゾートDX協議会の企画、議事設定、運営に関する委託費用）、市場調査経費：5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+12億円） ②マイポータル登録者数（+10万人） ③連携する自治体の数（+10市町村） ④マイ・ポータル内のリンクからの、ふるさと納税額（+6.24億円）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.hakuba.lg.jp/gyosei/soshikikarasagasu/somuka/seisakukikakugakari/2/14703.html

※長野県白馬村、野沢温泉村、小谷村の広域連携事業

申請者	長野県小谷村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	525,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・伝統ある地域の工芸品・特産品のブランド化を展開し、地場産業の高付加価値化を目指す。 ・若者・女性にも選ばれる地域づくりを進め、来訪、関係人口、移住・定住の循環を強化して、人口減少下でも地域経済とコミュニティを維持する。 ・工芸品等の高付加価値化、お試し滞在拠点整備、道路のボトルネック解消(周遊性向上、移住不安低減)を一体実施する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地場産業である工芸品等について、外部ブランドの知見を活用し、ターゲット(若者・女性層)を明確にしたデザインやブランディングを一体で実装することで、少量生産でも利益が確保できる高付加価値化を図る。併せて、ブランドの販売チャネルや発信力を活用して認知獲得と販路拡大を行い、作り手の所得向上、担い手確保等に結び付ける。周辺の取組として、お試し滞在拠点（移住促進住宅）を新たに整備し、来訪者が地域での暮らしと仕事に触れながら住まい・就業相談へ進む導線を組み込み、関係人口から担い手・移住へ転換する。併せて、インフラ整備事業を観光・生活動線のボトルネック解消として実施し、周遊性を高めることで滞在時間の価値を向上させ、村内での購買・体験機会を増やし、また、移住不安の低減を図ることで移住者増へつなげる事業である。					 小谷村工芸品（ぼろ織り）	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・工芸品等のブランディングプロデュース（補助金）12,000千円 ・道の駅等を活用した工芸品のプロモーション（委託料）2,000千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 移住促進住宅整備 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入者数（+111人） ②付加価値増加額（+960万円） ②道の駅売上高（+180万円） ③工芸品・特産品再開発数（+10品） ④村道・林道の設置管理瑕疵等事案件数の減（▲4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年10月公表予定

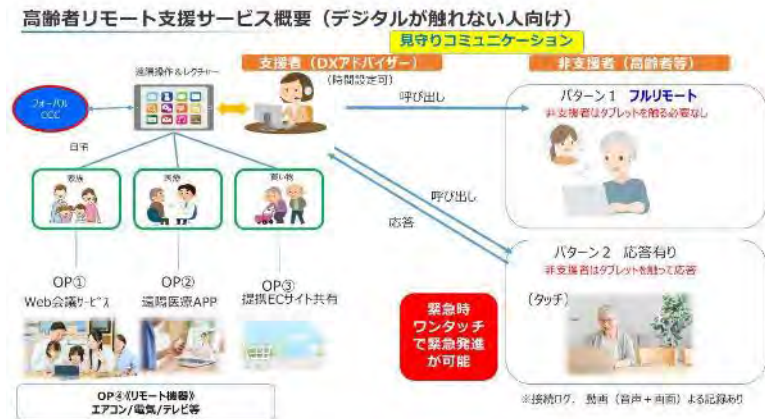
事業概要：持続可能な地域づくりに向けた多様な雇用機会創出と関係人口拡大事業

旧制度（推進）

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,538千円 (6,394千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	地域の季節的な雇用の不安定さと人口減少の課題に対応するため、安定した雇用環境の整備とシティプロモーションによるシビックプライド向上から関係人口の創出に取り組む。季節依存の産業からの脱却と関係人口拡大を通じて地域の持続可能な発展を促進することで、地域住民の地域愛を高め、町外からの移住者の増加を目指すもの。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 シティプロモーションと関係人口の拡大を目的に、専用サイトや映像で町の魅力を発信し、信濃町ファンクラブの本格運用により町外との継続的な関係を築きます。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○シビックプライド向上に関する事業 ・シティプロモーションサイトの構築(委託料) 1,000千円 ・信濃町しあわせ会議の開催(委託料) 1,000千円 ○関係人口創出・拡大に関する事業 ・関係人口プラットフォーム開発(委託料) 2,200千円 ・関係人創出・拡大事業(委託料等) 1,204千円 ○多様な雇用機会創出に関する事業 ・移住者の採用活動業務(委託料) 990千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数 (+15人) ②特定地域づくり協同組合雇用者数 (+7人) ③信濃町ファンクラブ会員数 (+1,400人) ④信濃町への愛着度 (+9.53%)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.town.shinano.lg.jp/docs/1580227.html

事業概要：シン・デジタルデバイド支援による地域活力向上プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	41,678千円 (15,678千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	①町内における事業者DXの推進 ②町内における雇用及びデジタル人材の活躍の場の創出 ③生産年齢人口の減少及び人口密度減少に伴うインフラサービス維持対策 ④デジタルデバイド対策		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 元気産業のまちづくり推進のために、eコマース拡充支援や人材育成等により既存産業の活性化を図るとともに、新規事業として地域住民を対象とした新しいデジタルデバイド解消インフラサービスを創出する。また、これらの拠点として信濃町GDXセンターを運営する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・フルリモート支援サービスの実装事業 8,842千円 ・デジタル人材の募集・育成事業 2,250千円 ・地域の小売業者に対するeコマースに特化した事業者DX推進支援事業 3,406千円 ・信濃町GDXセンターの運営事業 1,180千円		
			
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+8人） ②フルリモート支援サービス利用者数（+80人） ③eコマースに関する事業者DX支援件数（+3件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.town.shinano.lg.jp/docs/1580227.html

事業概要：ネイチャーポジティブを通じた観光産業の付加価値創出事業

新規

申請者	長野県信濃町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,500千円 (4,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・信濃町の自然資本を核に、観光・農業の労働生産性を抜本的に改善し、持続可能な地域経済モデルを確立する ・再生型観光の実装と外資系ホテルの進出を機に、付加価値の外部流出を防ぎ、町内所得の最大化を図る。 ・認定ガイドの知見を科学的に知的財産化し、高単価市場に対応できる高度専門人材（ガイド）を育成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1年目：自然資本の定量調査に基づく「生物多様性地域戦略」の策定、および熟練ガイドの知見アーカイブ化。 2年目：科学的根拠に基づく「インタープリテーション（解説）計画」の策定と、国際水準のスキルを持つ「高度NPガイド」の養成。 3年目：養成した人材と「オーガニックビレッジ宣言」に基づく産品を外資系ホテル等の富裕層マーケットへ直接投入し、販路開拓と産業間マッチングを完遂。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・生物多様性地域戦略策定（委託料） 4,300千円 ・地域資源調査継承検討会議（報酬、消耗品等）600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地場産業における域内付加価値増加額（+1,800万円） ②観光・農業分野における人口一人当たりの労働生産性向上率（+80%） ③地域へのUIターン数（移住・定住者数）（+10人） ④関係人口・交流人口の増加数（NPサポーター登録数）（+300人） ③高度NPガイド養成・認定者数（+15人） ④産品の新販路開拓および産業間マッチング件数（+5件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shinano.lg.jp/docs/1580227.html

事業概要：飯綱東高原スポーツ交流拠点整備事業

新規

申請者	長野県飯綱町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,710,478千円 (41,965千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・スポーツ施設整備と観光資源活用により交流人口を拡大し、地域経済を活性化させる。 ・広域観光連携を基盤にスポーツツーリズムを推進し、観光客数の回復と地域特性を活かしたブランド化を図る。 ・地域住民参加型のスポーツプログラムと交流拠点を展開し、持続可能で魅力ある地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「スポーツツーリズム」を核とした地方創生を推進し、交流人口拡大と地域経済活性化を目指す。冷涼な自然環境を活かし、天然芝・人工芝サッカー場、クラブハウス、駐車場を新たに整備し、プロ・アマチュアサッカーチームの合宿誘致を進める。地元住民参加型の活用やイベント開催を通じ地域活性化を促進し、観光消費額の増加を図る。また、長野市と連携し、複数施設を活用した「サッカーの聖地化」や広域観光を推進することで、観光客数の回復や地域ブランドの形成、持続的発展に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・用地造成 基本設計業務及び用地測量業務 41,965千円 飯綱東高原多目的グラウンド、テニスコート敷地及び旧飯綱浄水場跡地に天然芝サッカーグラウンド1面、人工芝サッカーグラウンド1面、クラブハウス、駐車場を整備するための基本設計及び用地測量						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内の主要観光事業者における観光消費額（+52.5百万円） ②飯綱東高原エリア集客数（+1.5万人） ③スポーツ交流拠点施設の利用者数（+1万人） ④スポーツ合宿等地域内滞在期間（+1.2日）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.iizuna.nagano.jp/docs/13994.html